

取扱説明書

保証書付

緊急地震速報 受信装置

型番：DM-ER3055J



デジタル

もぐら 3055



緊急地震速報のリーディングカンパニー



株式会社 Jコーポレーション

総合窓口 TEL 0742-53-7833

〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 557-7-4F

<https://www.jcorp.co.jp> fax 0742-53-7795



緊急地震速報

目次

1	本装置及び取扱説明書の表記について	1
2	本装置でできること	2
3	名称と主な機能	3
3-1	各種 LED	
3-2	周波数パネル・操作ボタン	
3-3	周波数パネル エラー表示	
4	本装置の設置と起動	6
4-1	本装置を設置する	
4-2	本装置の電源を入れる	
5	アンテナの接続	7
5-1	室内アンテナセットを利用する(オプション)	
5-2	ケーブルテレビを利用する	
5-3	屋外アンテナを利用する	
6	放送局	9
6-1	放送局について	
6-2	放送局を決める	
6-3	放送局の受信状態を確認	
7	放送設備・外部機器との接続	12
7-1	接続端子台を本装置に装着	
7-2	接続線サイズ	
7-3	パラレル接続	
7-4	接続端子	
7-5	外部機器からの入力	
7-6	放送設備と接続	
7-7	外部機器と接続	
8	各種設定	15
8-1	基本動作(設定スイッチ 1~8)の設定	
	[設定スイッチ 1] 緊急地震速報を受信する、受信しないを設定	
	[設定スイッチ 2] EWS(避難指示)を受信する、受信しないを設定	
	[設定スイッチ 3] EWS(津波警報)を受信する、受信しないを設定	
	[設定スイッチ 4] 警報音声終了後にラジオ放送を流す、流さないを設定	
	[設定スイッチ 5] 電波が受信できないときにお知らせする、お知らせしないを設定	
	[設定スイッチ 6] 緊急地震速報の警報音声を設定	
	[設定スイッチ 7] EWS(津波警報)の警報音声を設定	
	[設定スイッチ 8] 音声(接点)の出力時間を設定	
8-2	内蔵音源について	
8-3	詳細動作(H1~H6)の設定	
	[H1] 「緊急地震速報の音声(接点)出力時間」を設定	
	[H2] 「EWS(避難指示)の音声(接点)出力時間」を設定	
	[H3] 「EWS(津波警報)の音声(接点)出力時間」を設定	
	[H4] 「警報音声終了後にラジオ放送を流す動作」を設定	
	[H5] 「電波が受信できないときにお知らせする動作」を設定	
	[H6] 「音声出力の遅延時間」を設定	

8-4	詳細動作(H1～H6)の設定値を確認	
8-5	詳細動作(H1～H6)の設定値を初期化	
8-6	本体スピーカーの音量を設定	
8-7	ラジオ放送のライン出力音量を設定	
8-8	内蔵音源(1P～6P)のライン出力音量を個別に設定	
	[1P] 「緊急地震速報の警報メッセージ」のライン出力音量を設定	
	[2P] 「電波が受信できないときのお知らせメッセージ」のライン出力音量を設定	
	[3P] 「EWS(津波警報)の警報メッセージ」のライン出力音量を設定	
	[4P] 「緊急地震速報の訓練メッセージ」のライン出力音量を設定	
	[5P] 「EWS(避難指示/津波警報)の訓練メッセージ」のライン出力音量を設定	
	[6P] 「メロディ音声」のライン出力音量を設定	
9	防災訓練・動作確認	36
	9-1 緊急地震速報の防災訓練・動作確認	
	9-2 EWS(避難指示/津波警報)の防災訓練・動作確認	
	9-3 ラジオ放送で動作確認	
	9-4 メロディ音声で動作確認	
	9-5 FMトランスミッターを利用して動作確認(オプション)	
	9-6 FM放送局が実施するEWS(避難指示/津波警報)の試験放送について	
	9-7 気象庁訓練報について	
10	警報動作	41
	10-1 緊急地震速報の警報動作	
	10-2 EWS(避難指示)の警報動作	
	10-3 EWS(津波警報)の警報動作	
	10-4 内部動作の優先順位	
11	定期点検	44
12	ブロック図	46
13	製品仕様	47
14	製品寸法図	49
15	Q & A	50
	➤保証書	

付属品

ACアダプター×1個 耐震壁掛金具×1個 接続端子台×1個 取扱説明書(保証書含む)×1冊

本取扱説明書は本装置の取扱い上の注意、操作方法、製品仕様について説明しています。

本取扱説明書をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。

お読みになった後も、大切に保管してください。

本装置を安全にお使いいただき、人体への危害や財産への損害を未然に防ぐために守っていただきたい事項が、本取扱説明書の「警告」と「注意」に記載されています。

安全にご使用いただくために、必ずお読みください。

本取扱説明書の内容の一部を性能や機能の向上などにより、予告なく変更することがあります。

本取扱説明書の内容を無断で転載、複製することを禁止します。

本装置を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従ってください。

本装置に対するお問合せなどがございましたら、弊社までご連絡ください。

ご利用になる前の重要事項

- (1) 緊急地震速報に使用されている NHK 報知音(以下 NHK チャイム音と表記します)を受信しても、必ず本装置が起動することを保証するものではありません。
- (2) EWS(緊急警報放送)の第1種開始信号及び第2種開始信号を受信しても、必ず本装置が起動することを保証するものではありません。
- (3) 放送局の受信感度により、正常に本装置が起動できない場合があります。明瞭に受信できるようにアンテナの設置場所や方向を調整してください。
- (4) 本装置は緊急地震速報に使用される NHK チャイム音を検出し起動しますが、NHK チャイム音に酷似した音を受信した場合、誤って本装置が起動する場合があります。
- (5) 本装置は EWS(緊急警報放送)の第1種開始信号及び第2種開始信号を検出し起動しますが、第1種開始信号及び第2種開始信号に酷似した音を受信した場合、誤って本装置が起動する場合があります。
- (6) 緊急地震速報及び EWS(緊急警報放送)を受信しても、その発生場所、その他の理由により本装置の起動が地震や津波などの到達に間に合わない場合があります。
- (7) 電源の供給が止まっている場合には本装置は動作しません。本装置はバックアップ用の電池などは搭載しておりません。
- (8) 誤作動により生じた全ての損失や損害及び事故などに関しては、責任を負いかねますので予めご了承ください。

※内蔵音源の「緊急地震速報 警報・訓練メッセージの NHK 報知音(チャイム音)」は、NHK に帰属しています。

※内蔵音源の「メロディ音声」及び「EWS(緊急警報放送) 警報・訓練メッセージの警報音」は、弊社に帰属しています。

警 告

誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性、または重傷を負う可能性があります。

爆発性のガスがある場所で使用しないでください。

周囲に爆発性のガスがある場所で使用すると、爆発の原因になります。

煙が出る、異臭または異音がする場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、感電・火災・故障・けがの原因になりますので、弊社に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

水が入らないよう、また、濡らさないようご注意ください。

濡らしたまま使用すると、感電・火災・故障・けがの原因になります。

水などが入った場合は、弊社に修理をご依頼ください。

濡れた手で電源コネクターやケーブルにさわらないでください。

濡れた手でさわると、感電の原因になります。

ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に本装置を設置しないでください。

落ちたり、倒れたりすると、感電・火災・故障・けがの原因になります。

本装置のカバーが破損した場合は、弊社に修理をご依頼ください。

規定の AC アダプターを使用してください。

規定の AC アダプター以外を使用すると、感電・火災・故障・けがの原因になります。

隙間などから金属や燃えやすい異物を入れないでください。

隙間などから異物を入れると、感電・火災・故障・けがの原因になります。

異物が入った場合、電源プラグをコンセントから抜き、弊社に修理をご依頼ください。

本装置のカバーやパネルを外さないでください。

内部には電圧の高い部分がありますので、さわると感電の原因になります。

点検または修理を行う場合は、弊社にご依頼ください。

改造しないでください。

改造すると、感電・火災・故障・けがの原因になります。

改造した場合は修理に応じられないことがあります。

電源コード、接続ケーブルの取扱いについては以下の事項を厳守してください。

電源コード及び接続ケーブルは、束ねない、加工しない、引っ張らない、加熱しない、濡らさない、ねじらないでください。

注 意

誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害が発生する可能性があります。

人命に関わるような外部機器の作動・制御には使用しないでください。

長時間ご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントより抜いてください。

コネクタに規定外の端子を接続したり、電圧を加えたりしないでください。

コネクタに規定外の端子を接続したり、電圧を加えたりすると、感電・火災・故障・けがの原因になることがあります。

本装置の上に物を置かないでください。

上に物を置くと、カバーが内部回路に接触し、感電・火災・故障・けがの原因になることがあります。

故障したまま使用しないでください。

故障したまま使用すると、感電・火災・けがの原因になることがあります。

弊社に修理をご依頼ください。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

湿気やほこりの多い場所に置くと、感電・火災・故障・けがの原因になることがあります。

規定の動作範囲内でご使用ください。

動作範囲外で使用すると、故障の原因になることがあります。

使用できる温度範囲及び湿度範囲は製品仕様に明記してあります。

損傷したケーブルやACアダプターを使用しないでください。

損傷した物を使用すると、感電・火災・故障・けがの原因になることがあります。

本装置を輸送する場合は、ご購入時の包装材料か同等以上の包装材料をご使用ください。

輸送中に本装置にかかる振動や衝撃が大きいと、故障や火災の原因になることがあります。

業者に輸送を依頼するときは、包装箱のすべての面に「精密機械在中」などの表示をしてください。

室内でご使用ください。

本装置は防水仕様及び防滴仕様ではありません。

室内でご利用ください。

直射日光の当たる場所は避けてください。

1 本装置及び取扱説明書の表記について

本装置について

緊急地震速報受信装置「DM-ER3055J」は、FM ラジオ放送局からの緊急地震速報及び EWS (緊急警報放送) を受信することで、外部機器を制御し警報をお知らせする装置です。

取扱説明書の表記について

- (1) 緊急地震速報受信装置「DM-ER3055J」を「**本装置**」と表記
- (2) FM ラジオ放送局を「**FM 放送局**」と表記
- (3) 緊急地震速報及び EWS (緊急警報放送) を「**警報**」と表記
- (4) 警報を受信し本装置が動作することを「**警報動作**」と表記
- (5) 警報を受信することが可能な状態で、警報動作・各種設定・防災訓練・動作確認・試験放送 (EWS) などにより本装置が動作していない状態を「**待機状態**」と表記
- (6) EWS (緊急警報放送) を「**EWS (避難指示/津波警報)**」と表記
- (7) EWS (緊急警報放送) の第 1 種開始信号を「**EWS (避難指示)**」と表記
- (8) EWS (緊急警報放送) の第 2 種開始信号を「**EWS (津波警報)**」と表記

本装置がお知らせする緊急地震速報について

緊急地震速報には、テレビ・ラジオ・スマートフォンなどの電波で受信する緊急地震速報と、インターネットで受信する緊急地震速報があります。

本装置は、ラジオ放送局の FM 電波を利用し緊急地震速報を受信します。

電波で受信する緊急地震速報とは

設置場所に「地震が来ることだけ」をお知らせします。

インターネットで受信する緊急地震速報とは

設置場所に「地震が来るまでの具体的な猶予時間と予測震度」をリアルタイムでお知らせします。

EWS (緊急警報放送) とは

EWS (緊急警報放送) とは、人命や財産に重大な影響が予想される場合に、待機状態のテレビやラジオの受信装置を自動で起動するための放送で、1985 年 9 月より運用されています。

EWS (緊急警報放送) の信号には**第 1 種開始信号**、**第 2 種開始信号**、**終了信号**があります。

第 1 種開始信号：「自治体からの避難指示」が発令されたとき放送されます。

第 2 種開始信号：「津波警報」が発令されたとき放送されます。

終了信号：EWS (緊急警報放送) の第 1 種開始信号及び第 2 種開始信号を解除するとき放送されます。

NHK FM では全国の放送局で EWS (緊急警報放送) を放送していますが、民放 FM 放送局では放送局によって実施状況が異なるので、各放送局にご確認ください。

試験放送：NHK FM では 1 月は 4 日 (午前 11 時 59 分から)、2 月～12 月は毎月 1 日 (午前 11 時 59 分から) 定期的に EWS (緊急警報放送) の試験放送を行っています。

一部の民放 FM 放送局でも試験放送を行っています、詳細は各放送局にご確認ください。

EWS (緊急警報放送) の試験放送では終了信号だけが放送されます。

2 本装置でできること

1. 警報を受信して、館内に一斉放送

本装置が緊急地震速報・EWS(避難指示)・EWS(津波警報)の警報を受信することで、制御信号及び音声信号を出力し、警報音声を館内に一斉放送して、警報をお知らせすることができます。

(詳細) 『7 放送設備・外部機器との接続』

各警報を「受信する」か「受信しない」かは、個別に設定することができます。

(詳細) 『8-1 基本動作の設定 - [設定スイッチ 1][設定スイッチ 2][設定スイッチ 3]』

警報音声は、「ラジオ放送」か「内蔵音源」かを選択することができます。

(詳細) 『8-1 基本動作の設定 - [設定スイッチ 6][設定スイッチ 7]』

『8-2 内蔵音源について』

音量は、「警報音声は大きく」「訓練音声は小さく」など、個別に設定することができます。

(詳細) 『8-6 本体スピーカーの音量を設定』『8-7 ラジオ放送のライン出力音量を設定』

『8-8 内蔵音源(1P~6P)のライン出力音量を個別に設定』

放送設備の起動に時間が掛かる場合、音声出力を遅らせ、音声の頭切れを防ぐことができます。

(詳細) 『8-3 詳細動作の設定 - [H6]「音声出力の遅延時間」を設定』

2. 警報を受信して、外部機器を制御

本装置が緊急地震速報・EWS(避難指示)・EWS(津波警報)の警報を受信することで、外部機器に制御信号を出力し、自動ドア・エレベーター・回転灯・電光掲示板などを制御することができます。

(詳細) 『7 放送設備・外部機器との接続』

各警報を「受信する」か「受信しない」かは、個別に設定することができます。

(詳細) 『8-1 基本動作の設定 - [設定スイッチ 1][設定スイッチ 2][設定スイッチ 3]』

3. 警報音声終了後に自動でラジオ放送を流す

本装置の警報音声終了したあと、安全な避難行動に必要な災害情報を収集するために、自動でラジオ放送を流すことができます。

(詳細) 『8-3 詳細動作の設定 - [H4]「警報音声終了後にラジオ放送を流す動作」を設定』

4. 電波が受信できないときにお知らせ

本装置が電波を受信できない状態のときは、LED と音声でお知らせすることができます。

(詳細) 『8-3 詳細動作の設定 - [H5]「電波が受信できないときにお知らせする動作」を設定』

5. 避難訓練を実施

本装置のボタン操作で訓練用のメッセージを流し、避難訓練を行うことができます。

(詳細) 『9-1 緊急地震速報の防災訓練・動作確認』

『9-2 EWS(避難指示/津波警報)の防災訓練・動作確認』

3 名称と主な機能

3-1 各種 LED

※本装置には電源スイッチはありません。

- 電源 ON …本装置に AC アダプターを接続してください。
- 電源 OFF…本装置から AC アダプターを抜いてください。



地震速報 LED(赤)

緊急地震速報を受信すると、地震速報 LED が約 7 日間点灯します。
電源を OFF にする、または「終了ボタン」を押すと消灯します。

警報放送 LED(緑)

EWS(避難指示/津波警報)を受信すると、警報放送 LED が約 7 日間点灯します。
電源を OFF にする、または「終了ボタン」を押すと消灯します。

FM LED(緑)

放送局の電波強度を表示します。

点灯：良好 点滅：弱い 消灯：非常に弱い 高速点滅：電波無し

訓練 LED(黄)

EWS(避難指示/津波警報)の試験放送を受信すると、訓練 LED が約 7 日間点灯します。
電源を OFF にする、または「終了ボタン」を押すと消灯します。

モニタ LED(黄)

ラジオ放送が本体スピーカーに出力されると、モニタ LED が点灯します。

※各種設定、動作確認・防災訓練などを終了するために「本体の終了ボタン」を押すと、地震速報 LED(赤)・警報放送 LED(緑)・訓練 LED(黄)は消灯します。

電波が受信できないときは、全ての LED ランプが高速点滅します。

3-2 周波数パネル・操作ボタン



周波数パネル(赤)

周波数や音量を表示します。

電波が受信できないときは、周波数と「----」を交互に表示します。

本体スピーカー

ラジオ放送または内蔵音源を出力します。

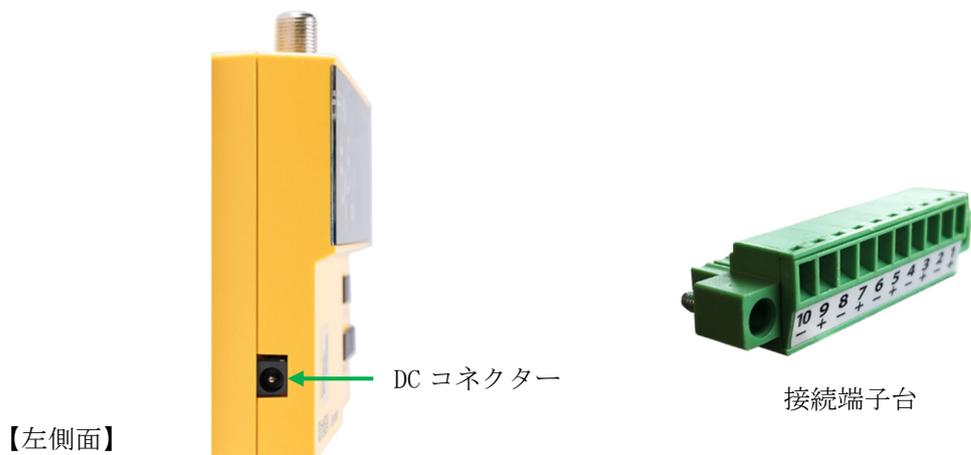
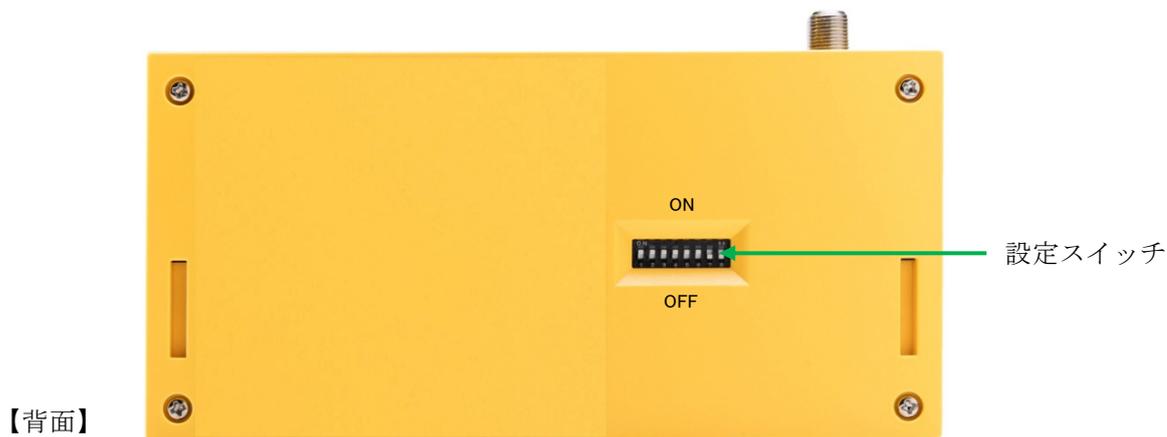
操作ボタン

△選局ボタン	周波数、音量、その他各種設定を行います。
▽音量ボタン	
終了ボタン	設定内容の保存、操作のキャンセル、動作の停止、LEDの消灯を行います。
[1] 地震訓練ボタン	緊急地震速報の防災訓練・動作確認を行います。
[2] 警報訓練ボタン	EWS(避難指示/津波警報)の防災訓練・動作確認を行います。
[3] モニタボタン	ラジオ放送を本体スピーカーに出力します。

3-3 周波数パネル エラー表示

エラー番号	原因							
E001	詳細動作の初期化に失敗した ※弊社までお問合せください。							
E002	<table border="0"> <tr> <td>[設定スイッチ 1]OFF</td> <td>緊急地震速報</td> <td rowspan="3">} 全て受信しない設定で電源を入れた</td> </tr> <tr> <td>[設定スイッチ 2]OFF</td> <td>EWS(避難指示)</td> </tr> <tr> <td>[設定スイッチ 3]OFF</td> <td>EWS(津波警報)</td> </tr> </table>	[設定スイッチ 1]OFF	緊急地震速報	} 全て受信しない設定で電源を入れた	[設定スイッチ 2]OFF	EWS(避難指示)	[設定スイッチ 3]OFF	EWS(津波警報)
[設定スイッチ 1]OFF	緊急地震速報	} 全て受信しない設定で電源を入れた						
[設定スイッチ 2]OFF	EWS(避難指示)							
[設定スイッチ 3]OFF	EWS(津波警報)							
E003	<table border="0"> <tr> <td>[設定スイッチ 1]OFF</td> <td>緊急地震速報</td> <td rowspan="3">} 全て受信しない設定で詳細動作の設定をしようとした</td> </tr> <tr> <td>[設定スイッチ 2]OFF</td> <td>EWS(避難指示)</td> </tr> <tr> <td>[設定スイッチ 3]OFF</td> <td>EWS(津波警報)</td> </tr> </table>	[設定スイッチ 1]OFF	緊急地震速報	} 全て受信しない設定で詳細動作の設定をしようとした	[設定スイッチ 2]OFF	EWS(避難指示)	[設定スイッチ 3]OFF	EWS(津波警報)
[設定スイッチ 1]OFF	緊急地震速報	} 全て受信しない設定で詳細動作の設定をしようとした						
[設定スイッチ 2]OFF	EWS(避難指示)							
[設定スイッチ 3]OFF	EWS(津波警報)							
E010	[設定スイッチ 1]OFF 緊急地震速報 受信しない設定で「[1]地震訓練ボタン」を押した							
E011	<table border="0"> <tr> <td>[設定スイッチ 2]OFF</td> <td>EWS(避難指示)</td> <td rowspan="2">} 両方とも受信しない設定で「[2]警報訓練ボタン」を押した</td> </tr> <tr> <td>[設定スイッチ 3]OFF</td> <td>EWS(津波警報)</td> </tr> </table>	[設定スイッチ 2]OFF	EWS(避難指示)	} 両方とも受信しない設定で「[2]警報訓練ボタン」を押した	[設定スイッチ 3]OFF	EWS(津波警報)		
[設定スイッチ 2]OFF	EWS(避難指示)	} 両方とも受信しない設定で「[2]警報訓練ボタン」を押した						
[設定スイッチ 3]OFF	EWS(津波警報)							

※設定スイッチについては『8-1 基本動作(設定スイッチ 1~8)の設定』を参照。



設定スイッチ

緊急地震速報・EWS(避難指示)・EWS(津波警報)の受信、警報音声終了後にラジオ放送を流す、電波が受信できないときにお知らせする、緊急地震速報の警報音声、EWS(津波警報)の警報音声、音声(接点)の出力時間を設定します。

入出力コネクタ

外部機器を接続する入出力端子です。付属の接続端子台を装着します。

F型コネクタ

アンテナケーブルを接続する入力端子です。

DC コネクタ

AC アダプターを接続する入力端子です。

4 本装置の設置と起動

4-1 本装置を設置する

本装置を、そのまま机などに置くと不安定になり、落下や破損の原因になります。
必ず付属の耐震壁掛金具を使用して、壁面などに設置してください。



壁面に設置

耐震壁掛金具は、付属の木ネジ、もしくは適切なネジで壁面などに固定してください。
ネジを使用しないで、付属の両面テープを耐震壁掛金具に貼って固定する場合は、剥れ落ちる可能性があるのでご注意ください。

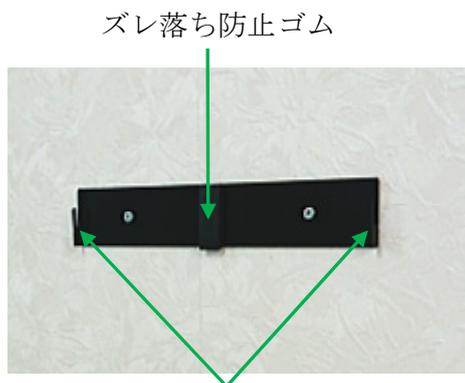


耐震壁掛金具を壁面に固定

本装置を、壁面に固定した耐震壁掛金具に装着するときは、「本装置の差し込み溝」と「耐震壁掛金具のフック」を合わせ、本装置を壁に押し付けながら、下へずらして固定してください。



差し込み溝



ズレ落ち防止ゴム

フック

※放送設備などの外部機器を接続する場合は、接続する外部機器の近くに本装置を設置することをお勧めします。

※19インチ放送ラックに収納することはできません。

4-2 本装置の電源を入れる

本装置には、電源スイッチはありません。ACアダプターを本装置のDCコネクタに接続し、ACアダプターとコンセントを接続すると電源がONになります。

5 アンテナの接続

設置状況及び受信感度に応じて、適切な方法でアンテナを接続してください。

電波が弱い場合にはブースターなどを接続することで、受信感度が高まることがあります。

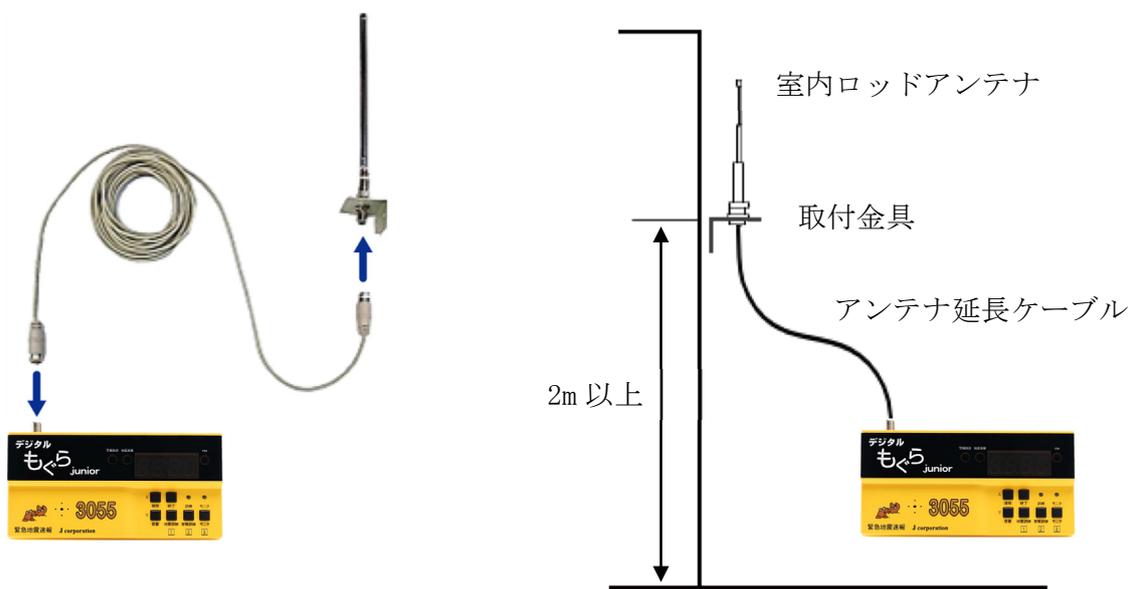
アンテナケーブルを本装置の F 型コネクタに接続するとき、強く締め付けると破損する場合がありますのでご注意ください。

5-1 室内アンテナセットを利用する(オプション)

アンテナ延長ケーブル(5m)で、受信感度が良好な場所に室内ロッドアンテナを設置してください。

受信感度は、ロッドアンテナの微妙な角度で大きく変化します。ラジオ放送が明瞭に聞こえ、雑音が無いようにロッドアンテナの設置位置や角度などを調整してください。

また、ラジオ放送を安定して受信できるように、アンテナの取付位置を床面より 2m 以上の高い場所に設置してください。



注意

本装置に直接ロッドアンテナを取り付けしないでください。
ロッドアンテナが動きやすく、受信感度が不安定になります。

※室内アンテナセット(オプション)には以下のものが含まれます。

室内ロッドアンテナ・取付金具(ネジ2本)・アンテナ延長ケーブル(5m)

※ケーブルの長さが不足する場合は、必要に応じて同軸ケーブルをご用意ください。

※市販の室内用 FM アンテナも利用できますが、人が移動したときなどに受信感度に変化する場合があるので、アンテナの取付位置を床面より 2m 以上の高い場所に設置してください。

5-2 ケーブルテレビを利用する

ケーブルテレビがFM放送を実施していれば、分配器を利用しラジオ放送を受信することができます。各ケーブルテレビ局にお問合せください。

ケーブルテレビによるFM放送は、受信感度が安定しているので安心してご利用になれます。



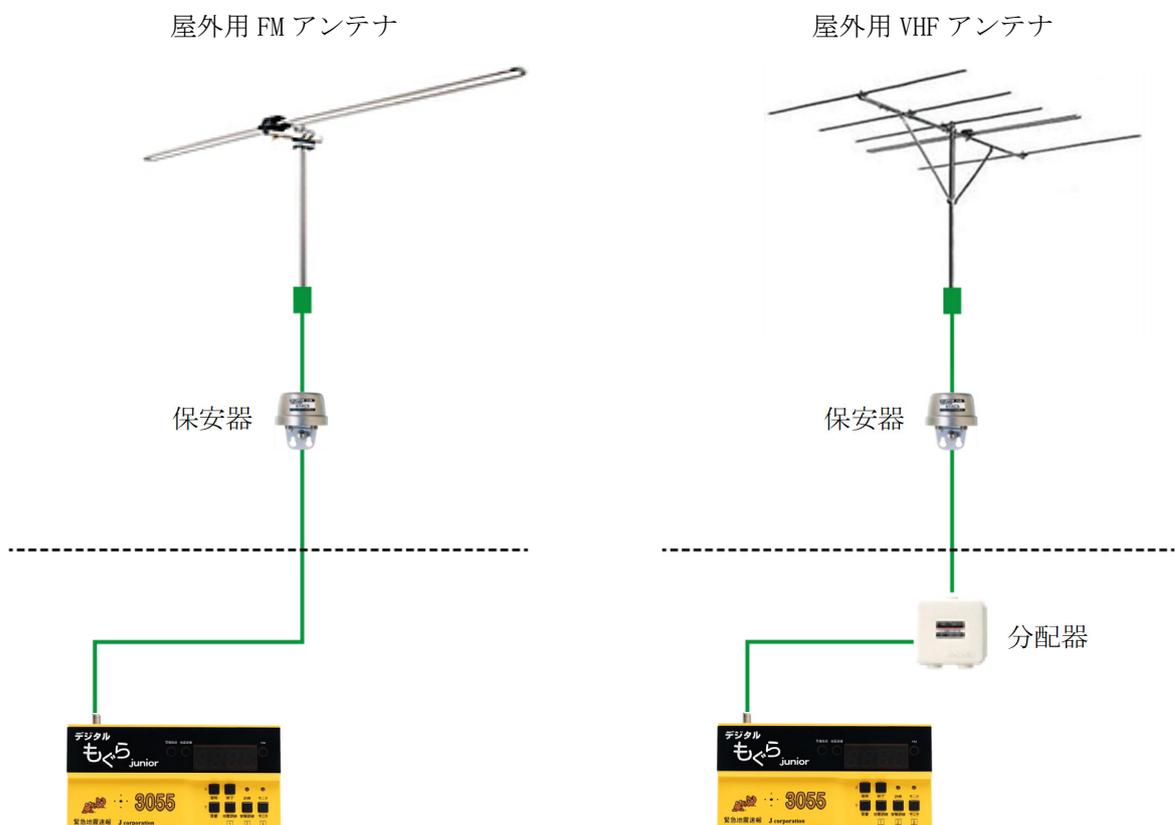
5-3 屋外アンテナを利用する

室内で十分な受信感度が得られない場合には、屋外にFMアンテナを設置してください。

ただし、本装置に避雷器は搭載されていないので、保安器などを設置し避雷対策をしてください。

アナログテレビのVHFアンテナが設置されていれば、分配器を利用しFM電波を受信することができますが、地上波デジタルテレビのアンテナは周波数が違うので使用できません。

電波が弱い場合にはブースターなどを接続することで、受信感度が高まることがあります。



6 放送局

6-1 放送局について

本装置を設置する場所と同じ都道府県内にある FM 放送局を受信してください。

ただし、設置場所と異なる放送局であっても、受信感度が良い放送局で運用することをお勧めします。放送局によって緊急地震速報・EWS(避難指示/津波警報)の実施状況、放送震度基準、放送内容などが異なるので、ご利用形態に応じて放送局を決めてください。

NHK FM 放送局の特徴

実施状況：全都道府県の NHK 放送局で、緊急地震速報・EWS(避難指示/津波警報)を実施。

緊急地震速報の放送震度基準：「予測震度 5 弱以上、あるいは長周期地震動階級 3 以上」を予想した地震で、「予測震度 4 以上、あるいは長周期地震動階級 3 以上」を予想した地域がある場合に放送。

緊急地震速報の放送内容：特定の地域に対して発表された緊急地震速報でも、全都道府県の NHK 放送局で速報として放送。

(例：北海道に対して発表された緊急地震速報は、東京の NHK でも放送される。)

EWS(避難指示/津波警報)の放送内容：特定の地域に対して発表された EWS(避難指示/津波警報)でも、全都道府県の NHK 放送局で速報として放送。

(例：北海道に対して発表された EWS(避難指示/津波警報)は、東京の NHK でも放送される。)

※NHK は放送局の中でもインフラが強固であるため、比較的災害時に強い放送局といえます。

民放 FM 放送局の特徴

実施状況：放送局により実施状況が異なります。

緊急地震速報の放送震度基準：放送局により放送震度基準が異なります。(基準は 2 種類あります。)

(1) 「予測震度 5 弱以上、あるいは長周期地震動階級 3 以上」を予想した地震で、放送エリア内に「予測震度 4 以上、あるいは長周期地震動階級 3 以上」を予想した地域がある場合に放送。

(2) 「予測震度 5 強以上、あるいは長周期地震動階級 3 以上」を予想した地震で、放送エリア内に「予測震度 4 以上、あるいは長周期地震動階級 3 以上」を予想した地域がある場合に放送。

緊急地震速報の放送内容：放送エリア内に対して発表された緊急地震速報だけを放送。

(例：北海道の放送エリアに対して発表された緊急地震速報は、東京の民放では放送されません。)

EWS(避難指示/津波警報)の放送内容：放送エリア内に対して発表された EWS(避難指示/津波警報)だけを放送。

(例：北海道の放送エリアに対して発表された EWS(避難指示/津波警報)は、東京の民放では放送されません。)

※民放は放送局によって緊急地震速報・EWS(避難指示/津波警報)の実施状況、放送震度基準、放送内容が異なるので、各放送局にお問合せください。

放送局の選択例

全都道府県で個別に発表される緊急地震速報を全て受信したい ⇒ NHK FM 放送局

全都道府県で個別に発表される EWS(避難指示/津波警報)を全て受信したい ⇒ NHK FM 放送局

民放の放送エリア内で発表される緊急地震速報だけを受信したい ⇒ 民放 FM 放送局

民放の放送エリア内で発表される EWS(避難指示/津波警報)だけを受信したい ⇒ 民放 FM 放送局

※民放は EWS(避難指示/津波警報)を実施している放送局が少ないので、各放送局にお問合せください。

※FM 補完放送であるワイド FM(AM ラジオの番組を FM 放送で聞く)で、EWS(避難指示/津波警報)を受信できる場合があるので、各放送局にお問合せください。

6-2 放送局を決める

本装置を設置する場所と同じ都道府県内にある FM 放送局を受信してください。

ただし、設置場所と異なる放送局であっても、受信感度が良い放送局で運用することをお勧めします。放送局によって、緊急地震速報・EWS(避難指示/津波警報)の実施状況、放送震度基準、放送内容などが異なるので、ご利用形態に応じて放送局を決めてください。

※ラジオ放送は本体スピーカーからのみ出力されます。ラインには出力されません。

- (1) 「△選局ボタン」と「3 モニタボタン」を同時に長押しすると、ラジオ放送が出力されます。



※本体スピーカーからラジオ放送が最大ボリュームで出力されます。

- (2) 「△選局ボタン」と「▽音量ボタン」で周波数を変更します。(周波数パネル：点滅)



- (3) 「終了ボタン」を押すと音声出力を停止し、周波数を保存して待機状態に戻ります。
(地震速報 LED(赤)：1 秒間点灯)



※60 秒間操作をしないと待機状態に戻ります。設定した内容は保存されません。

※「△選局ボタン」と「▽音量ボタン」で周波数を変更している間は、警報動作に移行しません。

6-3 放送局の受信状態を確認

FM LED(緑)で放送局の電波強度を確認



FM LED
点灯：良好
点滅：弱い
消灯：非常に弱い

電波が受信できない場合

- 全ての LED ランプが高速点滅
- 周波数と「----」を交互に表示



※電波強度が弱くても、ラジオ放送が明瞭に聞こえ、雑音が無い状態であればご利用になれます。

※アンテナの接続方法を変更、ブースターの取付、受信する放送局を変更することで電波強度が改善することがあります。

ラジオ放送が明瞭に聞こえ、雑音が無いことを確認

ラジオ放送は本体スピーカーからのみ出力されます。ラインには出力されません。

(1) 「**3**」モニターボタン」を長押しすると、ラジオ放送が出力されます。



(2) 本体スピーカー音量が表示されます。(モニター LED(黄)：点灯)



設定されている本体スピーカー音量

※「△選局ボタン」「▽音量ボタン」で本体スピーカー音量の調節ができます。

ここで変更した音量は保存されます。

(3) 「終了ボタン」を押すと音声出力を停止し、待機状態に戻ります。(地震速報 LED(赤)：1 秒間点灯)



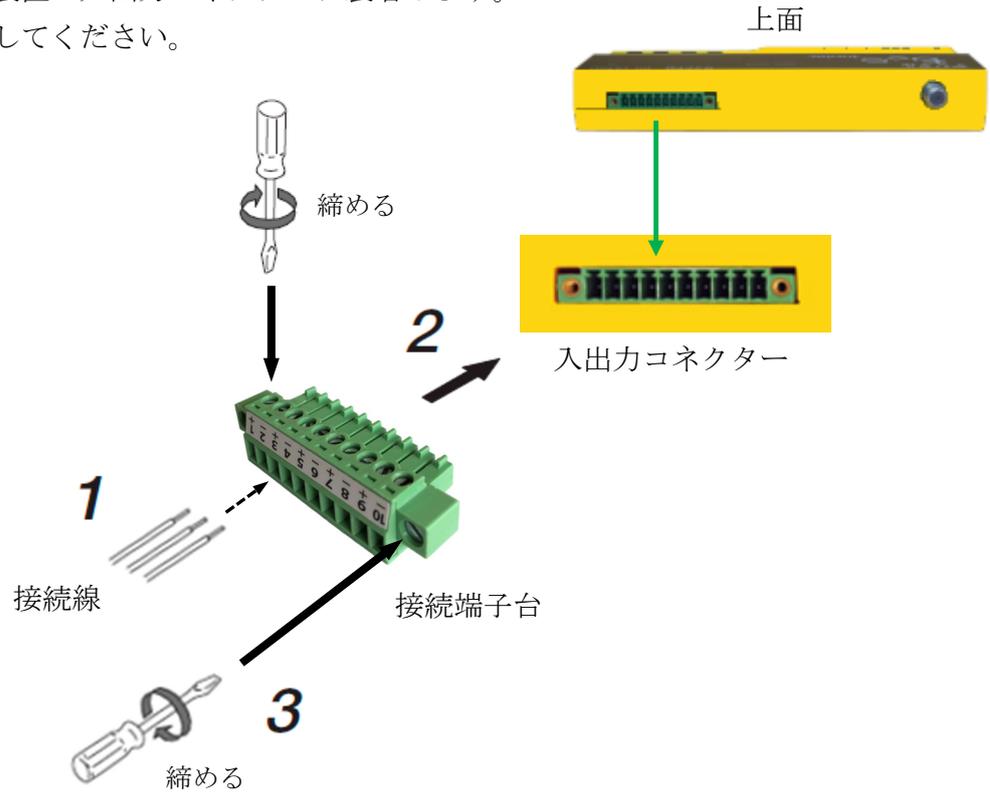
※操作中に警報を受信すると、直ちに警報動作に移行します。

※本体スピーカーの音量を変更する場合は『8-6 本体スピーカーの音量を設定』を参照。

7 放送設備・外部機器との接続

7-1 接続端子台を本装置に装着

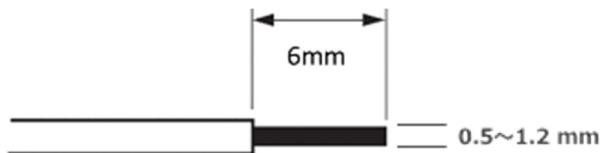
付属の接続端子台を本装置の入出力コネクタに装着します。
左右にあるネジで固定してください。



7-2 接続線サイズ

接続端子台に接続する線材は、直径0.5～1.2mm程度(単線・より線)を使用し、細い単線の場合には締め付けによる断線にご注意ください。

むきしろは、先端より6mm程度にしてください。



7-3 パラレル接続

複数の外部機器に対してパラレルで接点接続をすると、本装置や外部機器の故障の原因となることがあります。電流逆流防止用のダイオードなどをご利用ください。

また、接続した外部機器との電圧差が大きいと、本装置や外部機器を壊すリスクがあるので十分にご注意ください。

※複数の外部機器に接続する場合には、接点分配器を利用することをお勧めします。

詳細は弊社までお問合せください。

7-4 接続端子

本装置に装着した接続端子台に、放送設備・外部機器などを接続します。
接続線を接続端子台に差し込み、ネジで固定してください。



接続端子台

端子番号 1 RS-232C (Tx D)

端子番号 2 RS-232C (Rx D)

使用しません。(メンテナンス用)

端子番号 3 接点入力 (+)

端子番号 4 接点入力 (-)

外部機器からの制御信号を入力します。

端子番号 5 接点出力 (+)

端子番号 6 接点出力 (-)

放送設備・外部機器に制御信号を出力(接点 ON)します。

接点容量 最大 DC30V 1000mA、最大 AC60V 500mA パルス幅 約 500msec

端子番号 7 ライン入力 (+)

端子番号 8 ライン入力 (-)

外部機器からの音声信号を入力します。

端子番号 9 ライン出力 (+)

端子番号 10 ライン出力 (-)

放送設備・外部機器に音声信号を出力します。

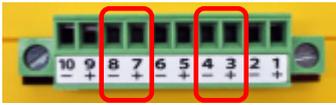
※本装置の電源が ON・OFF にかかわらず、外部機器からの入力信号があれば、そのまま本装置の接点出力及びライン出力に信号が送出されます。詳細は『12 ブロック図』を参照。

※接続する放送設備・外部機器などの接点容量に注意してください。

本装置には保護回路がついていないので、接点容量を超えた電圧や電流が流れると故障の原因となります。外部機器が本装置の接点容量を超えている場合には、リレー回路などで対応してください。

7-5 外部機器からの入力

放送設備などの入力端子数に余裕がない場合は、本装置の入力端子を利用します。
チャイムなどの外部機器からの制御信号や音声信号を本装置に入力します。



接点入力 (端子番号 3・4)

ライン入力 (端子番号 7・8)

本装置の電源が ON・OFF にかかわらず、外部機器からの入力信号があれば、そのまま本装置の接点出力及びライン出力に信号が送出されます。詳細は『12 ブロック図』を参照。

警報動作・各種設定・防災訓練・動作確認などにより本装置が動作した場合には、外部機器からの入力信号は遮断されます。

7-6 放送設備と接続

放送設備に制御信号を出力(接点 ON)及び音声信号を出力します。



接点出力 (端子番号 5・6)

ライン出力 (端子番号 9・10)

警報動作

外部機器からの入力信号は遮断され、直ちに警報動作に移行します。

制御信号を出力(接点 ON)します。

ラジオ放送または内蔵音源の警報メッセージがラインに出力されます。

「終了ボタン」を押すか、設定した出力時間が経過すると、制御信号を停止(接点 OFF)及び音声出力を停止し、待機状態に戻ります。

7-7 外部機器と接続

回転灯・電光掲示板・アナウンスマシーンなどの外部機器に制御信号を出力(接点 ON)します。



接点出力 (端子番号 5・6)

警報動作

外部機器からの入力信号は遮断され、直ちに警報動作に移行します。

制御信号を出力(接点 ON)します。

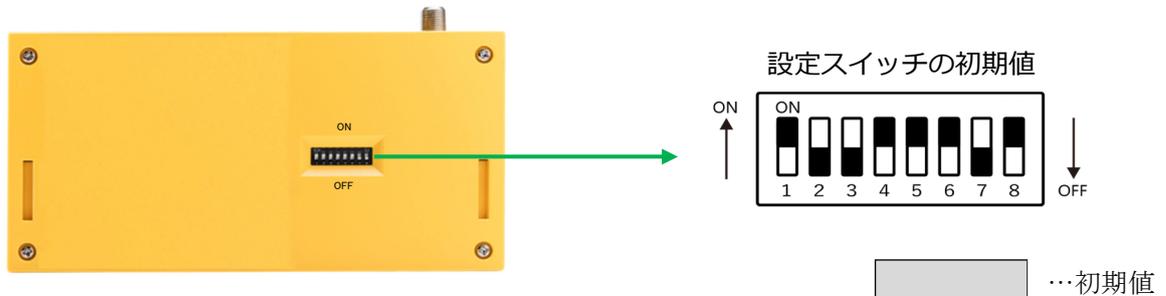
「終了ボタン」を押すか、設定した出力時間が経過すると、制御信号を停止(接点 OFF)し、待機状態に戻ります。

8 各種設定

8-1 基本動作(設定スイッチ 1~8)の設定

緊急地震速報・EWS(避難指示)・EWS(津波警報)の受信設定、警報音声終了後のラジオ放送の設定、電波が受信できないときの設定、緊急地震速報・EWS(津波警報)の警報音声の設定、音声(接点)の出力時間を設定します。

本装置から AC アダプターを抜き、電源を OFF にしてから設定スイッチを変更してください。電源が ON の状態で変更しても、反映されません。

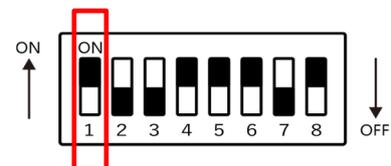


スイッチ番号	機能	ON	OFF
設定スイッチ 1	緊急地震速報を受信	受信する	受信しない
設定スイッチ 2	EWS(避難指示)を受信	受信する	受信しない
設定スイッチ 3	EWS(津波警報)を受信	受信する	受信しない
設定スイッチ 4	警報音声終了後にラジオ放送を流す	流す	流さない
設定スイッチ 5	電波が受信できないときにお知らせする	お知らせする	お知らせしない
設定スイッチ 6	緊急地震速報の警報音声	内蔵音源	ラジオ放送
設定スイッチ 7	EWS(津波警報)の警報音声	内蔵音源	ラジオ放送
設定スイッチ 8	音声(接点)の出力時間	音声(接点)出力時間(AF 連動) [*]	パルス

※接点出力時間と音声出力時間は、異なる時間を設定することはできません。

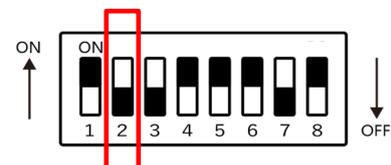
[設定スイッチ 1] 緊急地震速報を受信する、受信しないを設定

- ON 受信する
- OFF 受信しない



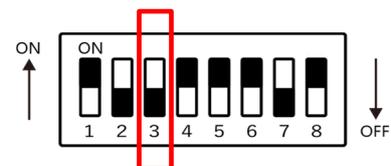
[設定スイッチ 2] EWS(避難指示)を受信する、受信しないを設定

- ON 受信する
- OFF 受信しない



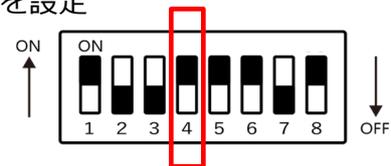
[設定スイッチ 3] EWS(津波警報)を受信する、受信しないを設定

- ON 受信する
- OFF 受信しない



[設定スイッチ 4] 警報音声終了後にラジオ放送を流す、流さないを設定

- ON ラジオ放送を流す
- OFF ラジオ放送を流さない

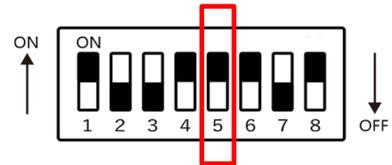


[設定スイッチ 5] 電波が受信できないときにお知らせする、お知らせしないを設定

ON お知らせする

OFF お知らせしない

お知らせ音声は『8-2 内蔵音源について』を参照。

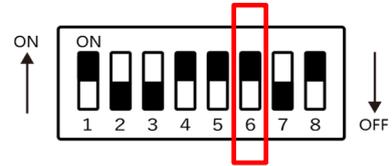


[設定スイッチ 6] 緊急地震速報の警報音声を設定

ON 内蔵音源の警報メッセージ

OFF ラジオ放送

警報メッセージは『8-2 内蔵音源について』を参照。

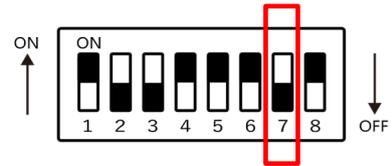


[設定スイッチ 7] EWS(津波警報)の警報音声を設定

ON 内蔵音源の警報メッセージ

OFF ラジオ放送

警報メッセージは『8-2 内蔵音源について』を参照。



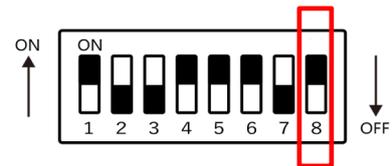
[設定スイッチ 8] 音声(接点)の出力時間を設定

ON 音声(接点)の出力時間を設定(AF 連動)

OFF パルス

※パルス出力の場合は、音声はライン出力されません。

出力時間の設定は『8-3 詳細動作(H1~H6)の設定』を参照。



8-2 内蔵音源について

本装置の内蔵音源には6種類の音声登録されています。

内蔵音源は書き換えをすることができます。(オプション)

🔊 緊急地震速報の警報メッセージ

「♪NHK チャイム音♪ 緊急地震速報 強い揺れに警戒してください
揺れが収まるまで、安全を確保してください」

🔊 緊急地震速報の訓練メッセージ

「訓練 訓練 ♪NHK チャイム音♪ これは緊急地震速報の訓練です
緊急地震速報 強い揺れに警戒してください 揺れが収まるまで、安全を確保してください」

🔊 EWS(津波警報)の警報メッセージ

「♪警報音♪ 津波警報 津波警報 津波警報 慌てず高台に避難してください」

🔊 EWS(避難指示/津波警報)の訓練メッセージ

「訓練放送です ♪警報音♪ 緊急警報放送を受信しました 津波の危険があります
情報を確認し警戒してください」

🔊 電波が受信できないときのお知らせメッセージ

「FM 電波が受信できません 本体やアンテナなどを確認してください」

🔊 メロディ音声

「♪メロディ音♪」

8-3 詳細動作(H1~H6)の設定

緊急地震速報・EWS(避難指示)・EWS(津波警報)の音声(接点)出力時間、警報音声終了後にラジオ放送を流す動作、電波が受信できないときにお知らせする動作、内蔵音源の音声出力の遅延時間などの詳細動作を設定します。

※設定中は警報を受信しても、警報動作に移行しません。

項目	設定内容
H1	緊急地震速報の音声(接点)出力時間
H2	EWS(避難指示)の音声(接点)出力時間
H3	EWS(津波警報)の音声(接点)出力時間
H4	警報音声終了後にラジオ放送を流す動作 (接点出力・音声(接点)出力時間)
H5	電波が受信できないときにお知らせする動作 (接点出力・初期待機時間・音声(接点)出力時間・繰り返し待機時間)
H6	内蔵音源の音声出力の遅延時間 ※ラジオ放送は遅延しません

▲ 注意事項

- ・「終了ボタン」を押すまで、設定値は保存されません。
- ・設定を終了するときは、必ず「終了ボタン」を押してください。
- ・「終了ボタン」を押す前に電源が OFF になった場合は、必ず設定値の初期化を実行し、はじめから設定をやりなおしてください。『8-5 詳細動作(H1~H6)の設定値を初期化』を参照。

1. 詳細動作の設定モードに入る

(1) 本装置の電源を OFF にします。

- 電源 OFF…本装置から AC アダプターを抜いてください。
- 電源 ON …本装置に AC アダプターを接続してください。

(2) 「1地震訓練ボタン」と「2警報訓練ボタン」を同時に押しながら電源を ON にします。



(3) バージョンが 2 秒間表示されたあと、「警報放送 LED(緑)」が高速点滅し、「H1」または「H1--」と表示されます。

※電源を ON にしたときに周波数パネルの一部が点灯することがありますが、異常ではありません。

バージョン表示例



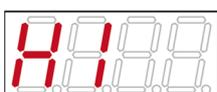
エラー



設定できません。

『3-3 周波数パネル エラー表示』参照

緊急地震速報を受信する場合



緊急地震速報を受信しない場合



[H1] 「緊急地震速報の音声(接点)出力時間」を設定

に進みます。

2. 詳細動作の設定をする

設定中は「③モニタボタン」を押すたびに「地震速報 LED(赤)」が1秒間点灯します。

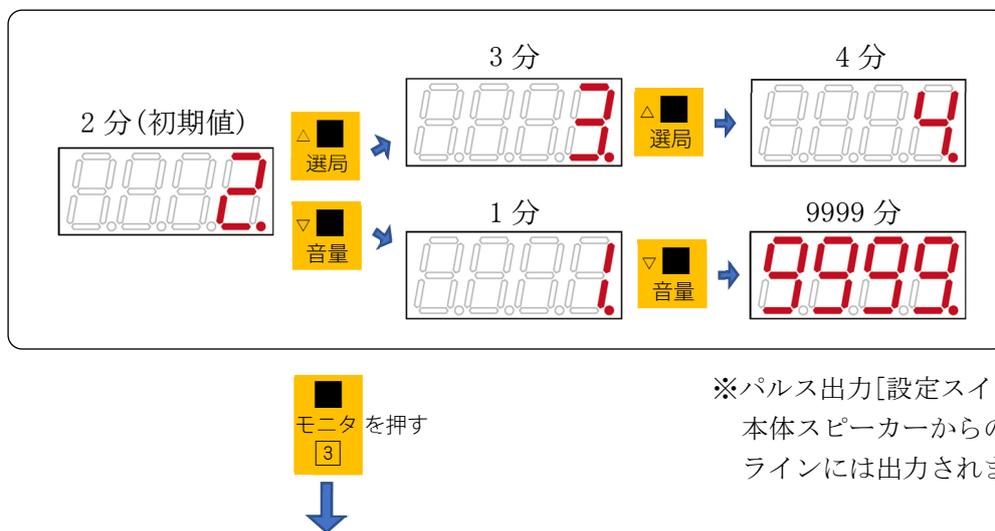
[H1] 「緊急地震速報の音声(接点)出力時間」を設定



(ア) 音声(接点)出力時間を設定します。



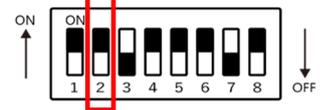
(ア) 音声(接点)出力時間を、「1分～9999分」で設定します。



※パルス出力[設定スイッチ 8 : OFF]の場合は、本体スピーカーからの出力時間になります。ラインには出力されません。

[H2] 「EWS(避難指示)の音声(接点)出力時間」を設定 に進みます。

[設定スイッチ 2 : ON]

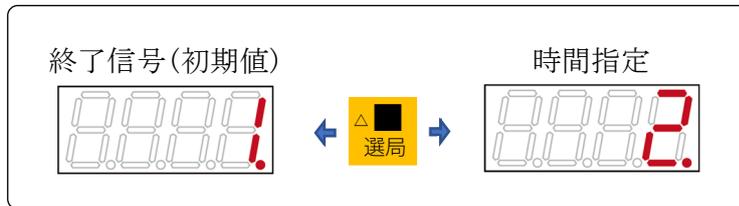


[H2] 「EWS(避難指示)の音声(接点)出力時間」を設定

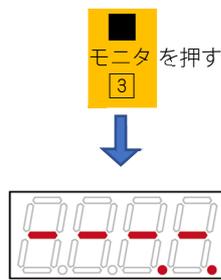
- (ア) 音声(接点)出力時間は、「終了信号を受信するまで」か「時間指定」かを選択します。
- (イ) 「時間指定」を選択した場合、任意の出力時間を設定します。



- (ア) 音声(接点)出力時間を、「終了信号を受信するまで」または「時間指定」から選択します。



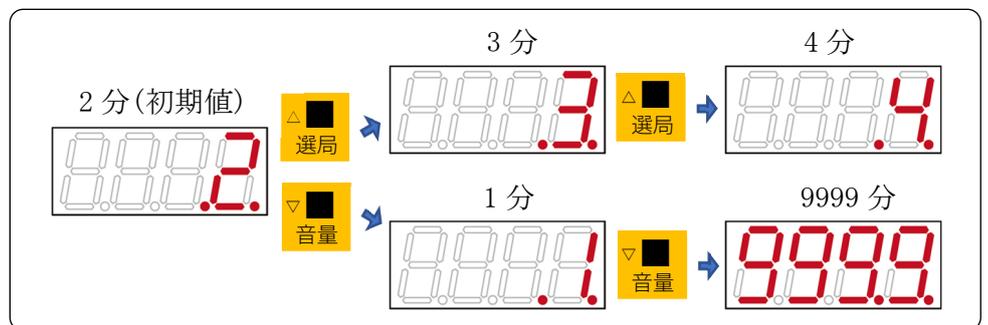
※終了信号とは、EWS(避難指示)が解除されるときに気象庁から配信される信号です。「終了信号」を選択した場合は、終了信号を受信するまで、音声(接点)出力を続けます。



※設定不要



- (イ) 音声(接点)出力時間を、「1分~9999分」で設定します。

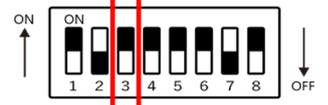


※パルス出力[設定スイッチ 8 : OFF]の場合は、本体スピーカーからの出力時間になります。ラインには出力されません。

[H3] 「EWS(津波警報)の音声(接点)出力時間」を設定

に進みます。

[設定スイッチ 3 : ON]

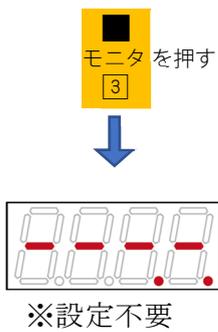


[H3] 「EWS(津波警報)の音声(接点)出力時間」を設定

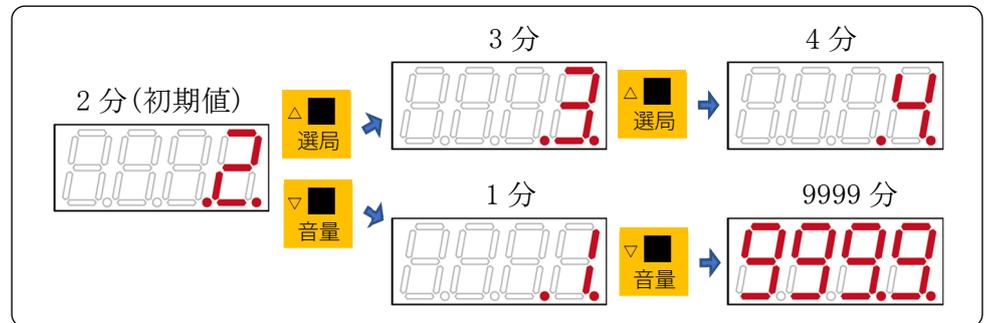
- (ア) 音声(接点)出力時間は、「終了信号を受信するまで」か「時間指定」かを選択します。
- (イ) 「時間指定」を選択した場合、任意の出力時間を設定します。



- (ア) 音声(接点)出力時間を、「終了信号を受信するまで」または「時間指定」から選択します。



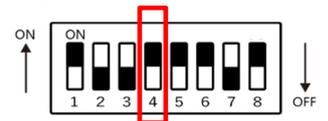
- (イ) 音声(接点)出力時間を、「1分～9999分」で設定します。



※パルス出力[設定スイッチ 8 : OFF]の場合は、本体スピーカーからの出力時間になります。ラインには出力されません。

[H4] 「警報音声終了後にラジオ放送を流す動作」を設定

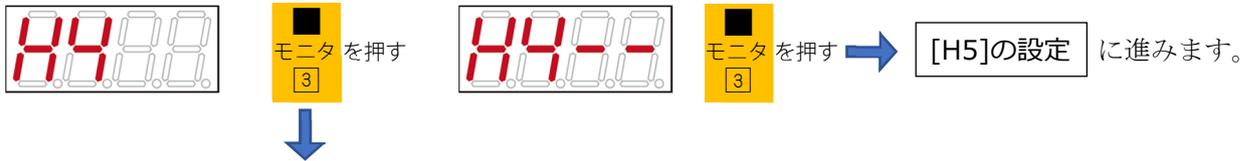
に進みます。



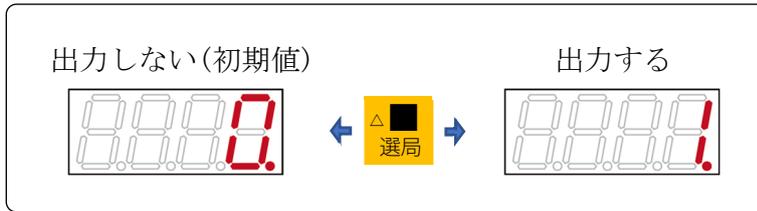
[H4] 「警報音声終了後にラジオ放送を流す動作」を設定

- (ア) 接点を「出力する」か「出力しない」かを選択します。
- (イ) ラジオ放送(接点)出力時間は、「本体の終了ボタンを押すまで」か「時間指定」かを選択します。
- (ウ) 「時間指定」を選択した場合、任意の出力時間を設定します。

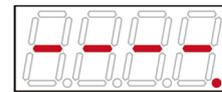
※警報音声終了後にラジオ放送を流さない場合 [設定スイッチ 4 : OFF]



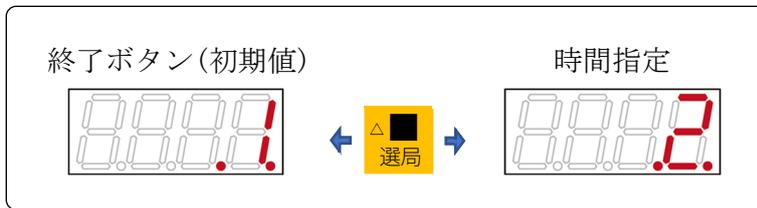
- (ア) 接点を「出力する」か「出力しない」かを選択します。



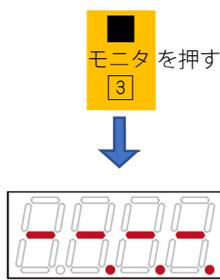
パルス出力[設定スイッチ 8 : OFF]の場合は、接点出力することができません。



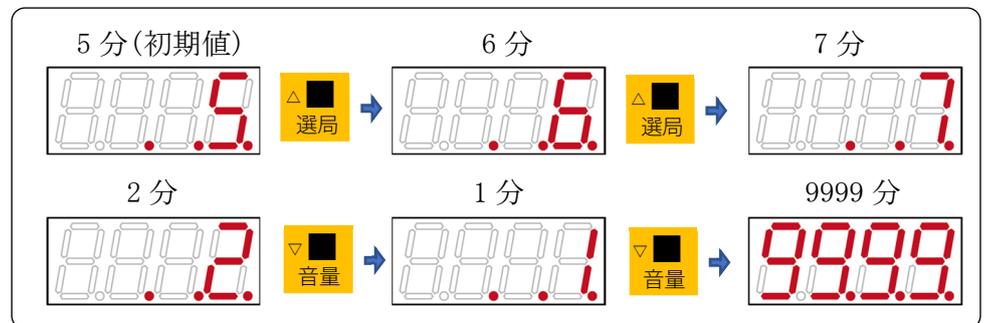
- (イ) ラジオ放送(接点)出力時間を、「本体の終了ボタンを押すまで」または「時間指定」から選択します。



※「終了ボタン」を選択した場合は、「本体の終了ボタン」を押すまで音声(接点)出力を続けます。



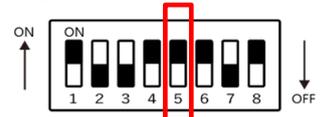
- (ウ) ラジオ放送(接点)出力時間を、「1分～9999分」で設定します。



※パルス出力[設定スイッチ 8 : OFF]の場合は、本体スピーカーからの出力時間になります。ラインには出力されません。

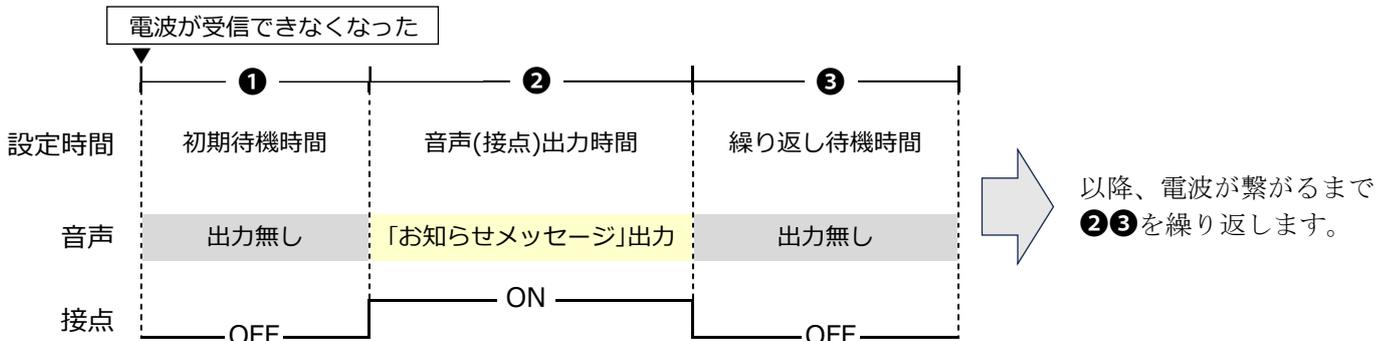
[H5] 「電波が受信できないときにお知らせする動作」を設定 に進みます。

[設定スイッチ 5 : ON]



[H5] 「電波が受信できないときのお知らせする動作」を設定

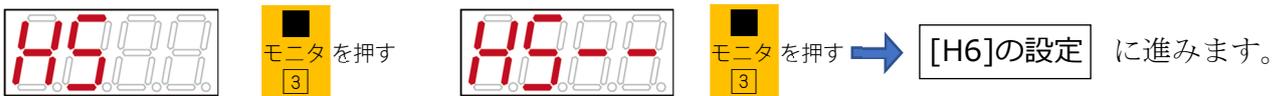
- (ア) 接点を「出力する」か「出力しない」かを選択します。
- (イ) 電波が受信できなくなってから、「お知らせメッセージ」の音声(接点)出力するまでの「**①**初期待機時間」を設定します。
- (ウ) 「**②**音声(接点)出力時間」を設定します。
- (エ) 音声(接点)出力終了後、再度音声(接点)出力するまでの「**③**繰り返し待機時間」を設定します。



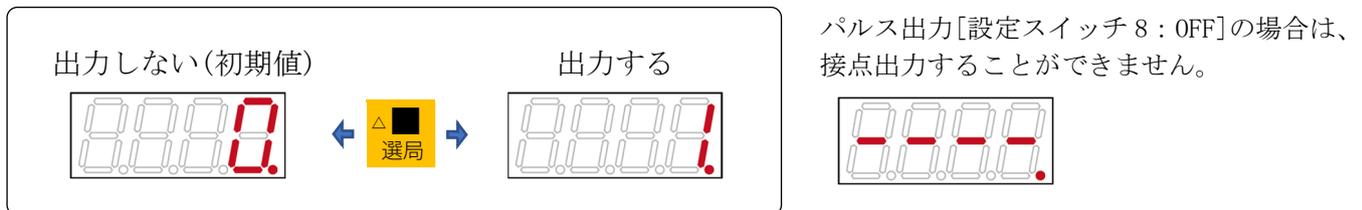
※(ア)で「接点出力しない」を選択した場合は、接点 OFF のままです。

途中で「本体の終了ボタン」を押すと音声(接点)出力を停止し、**①**に戻ります。

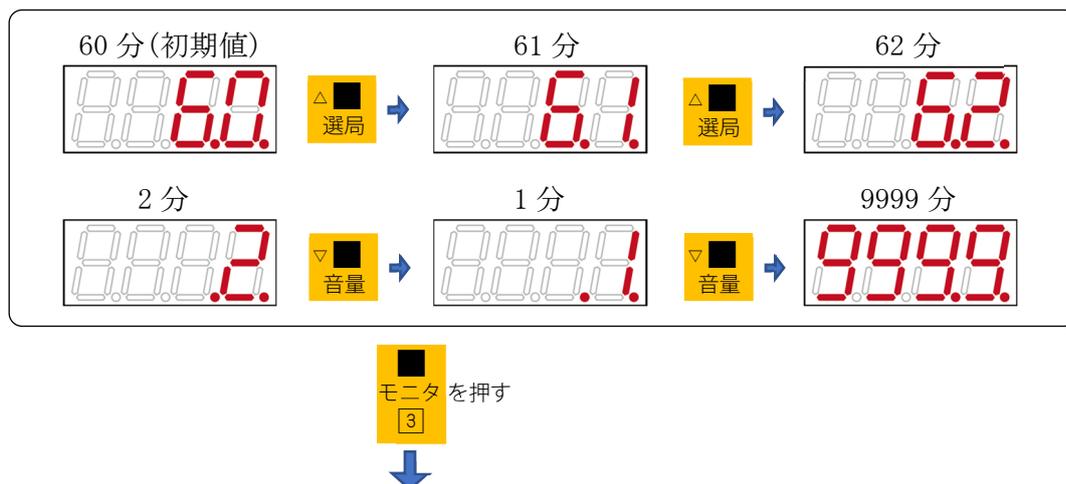
※電波が受信できないときにお知らせしない場合 [設定スイッチ 5 : OFF]



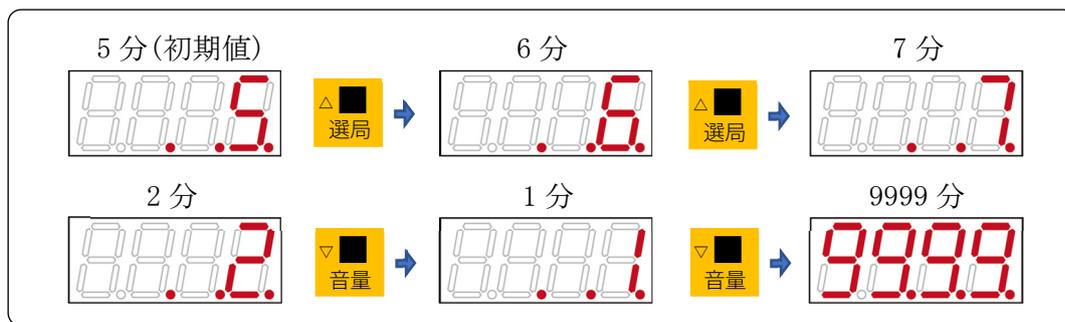
- (ア) 接点を「出力する」か「出力しない」かを選択します。



- (イ) 「**①**初期待機時間」を、「1分～9999分」で設定します。

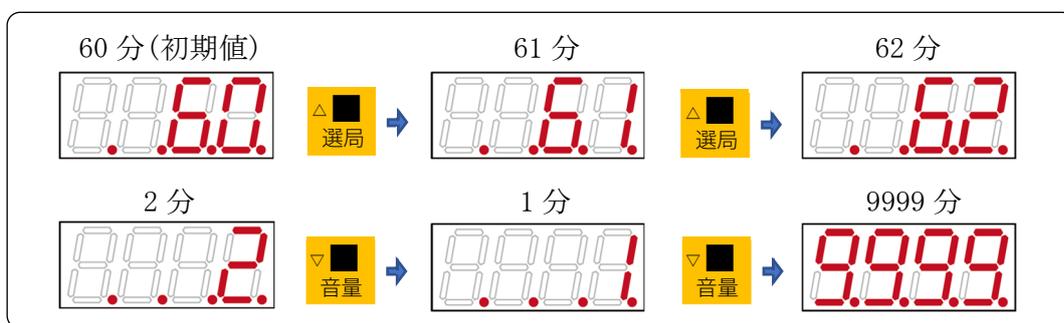


(ウ) 「**②**音声(接点)出力時間」を、「1分～9999分」で設定します。



※パルス出力[設定スイッチ8:OFF]の場合は、
本体スピーカーからの出力時間になります。
ラインには出力されません。

(エ) 音声(接点)出力までの「**③**繰り返し待機時間」を、「1分～9999分」で設定します。



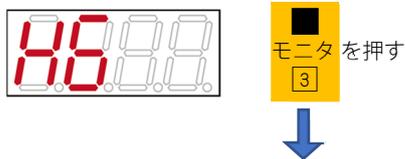
[H6] 「音声出力の遅延時間」を設定

に進みます。

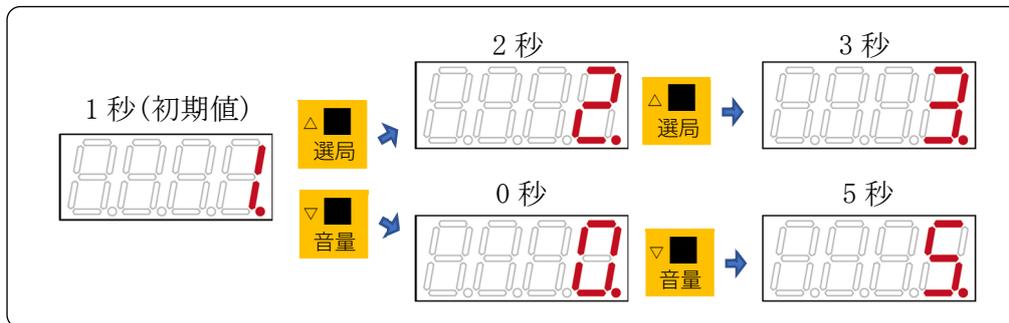
[H6] 「音声出力の遅延時間」を設定

(ア) 接続する放送機器の起動時間に合わせて、音声出力の遅延時間を設定します。

※設定した時間だけ遅延して、内蔵音源の音声を本体スピーカー及びラインから出力します。
ラジオ放送は遅延しません。



(ア) 音声出力の遅延時間を、「0～5秒」で設定します。



3. 「終了ボタン」を押して設定内容を保存する

「終了ボタン」を押すとバージョンを1秒間表示し、設定内容を保存して待機状態に戻ります。

(地震速報 LED(赤)：1秒間点灯)



必ず『8-4 詳細動作(H1～H6)の設定値の確認』を行い、
設定内容に間違いがないか確認してください。

※「終了ボタン」を押さずに電源を OFF にした場合は、必ず設定値の初期化を実行し、はじめから設定をやりなおしてください。『8-5 詳細動作(H1～H6)の設定値を初期化』を参照。

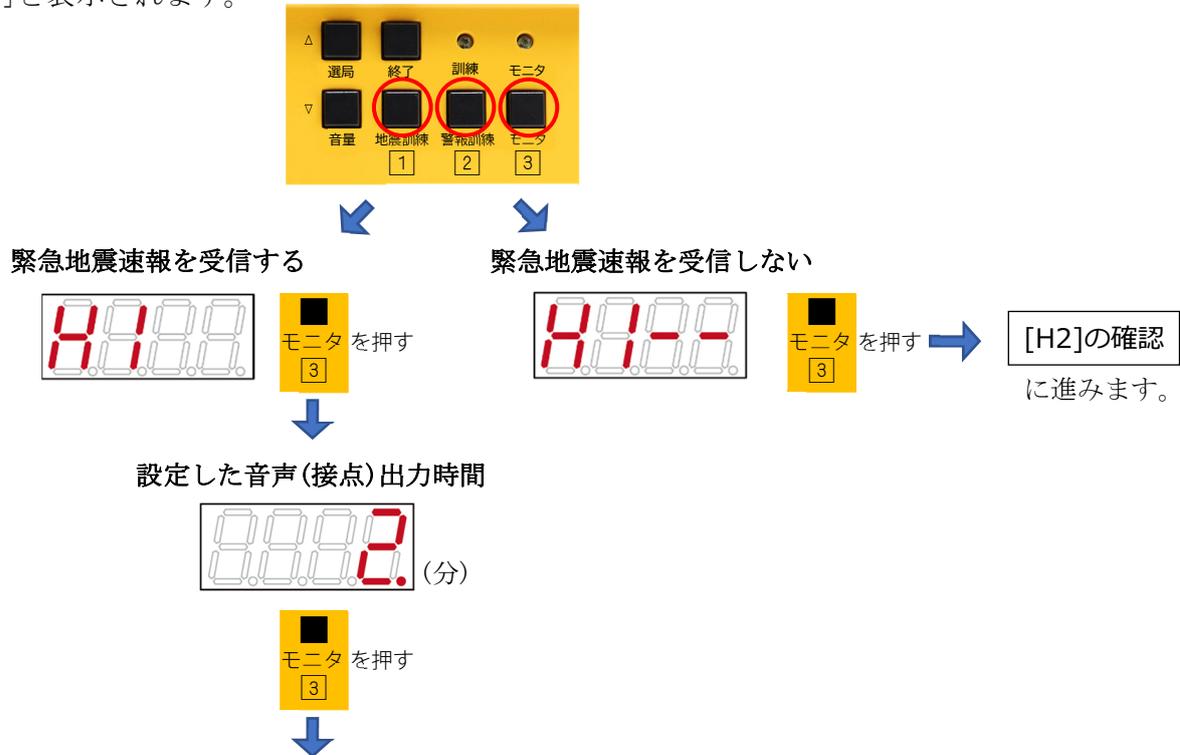
8-4 詳細動作(H1~H6)の設定値を確認

※操作の途中で「終了ボタン」を押す、または 60 秒間操作をしないと待機状態に戻ります。

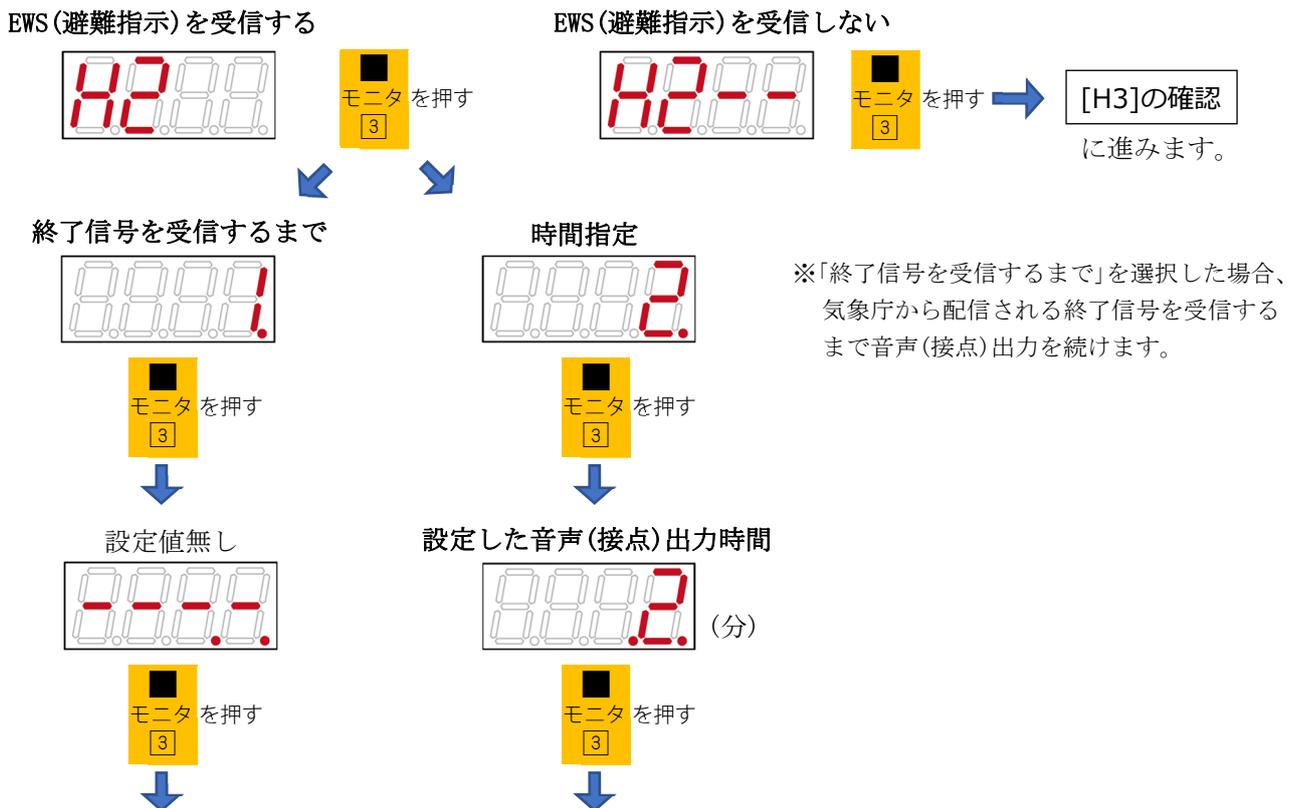
※操作中に警報を受信すると、直ちに警報動作に移行します。

[H1] 「緊急地震速報の音声(接点)出力時間」を確認

「1」地震訓練ボタン「2」警報訓練ボタン「3」モニタボタンを同時に長押しすると、「H1」または「H1--」と表示されます。



[H2] 「EWS(避難指示)の音声(接点)出力時間」を確認



[H3] 「EWS(津波警報)の音声(接点)出力時間」を確認

EWS(津波警報)を受信する



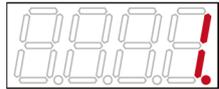
EWS(津波警報)を受信しない



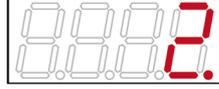
[H4]の確認

に進みます。

終了信号を受信するまで

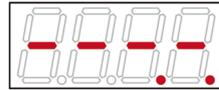


時間指定

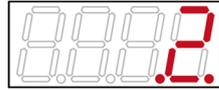


※「終了信号を受信するまで」を選択した場合、気象庁から配信される終了信号を受信するまで音声(接点)出力を続けます。

設定値無し



設定した音声(接点)出力時間



(分)

[H4] 「警報音声終了後にラジオ放送を流す動作」を確認

ラジオ放送を流す



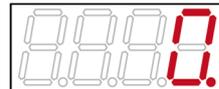
ラジオ放送を流さない



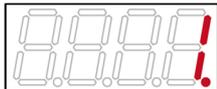
[H5]の確認

に進みます。

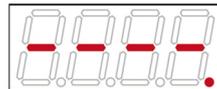
接点出力しない



接点出力する



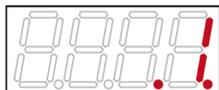
接点出力しない



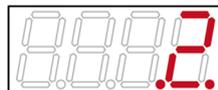
※パルス出力の場合



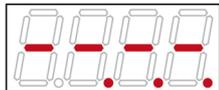
終了ボタンを押すまで



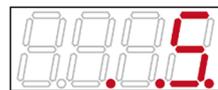
時間指定



設定値無し

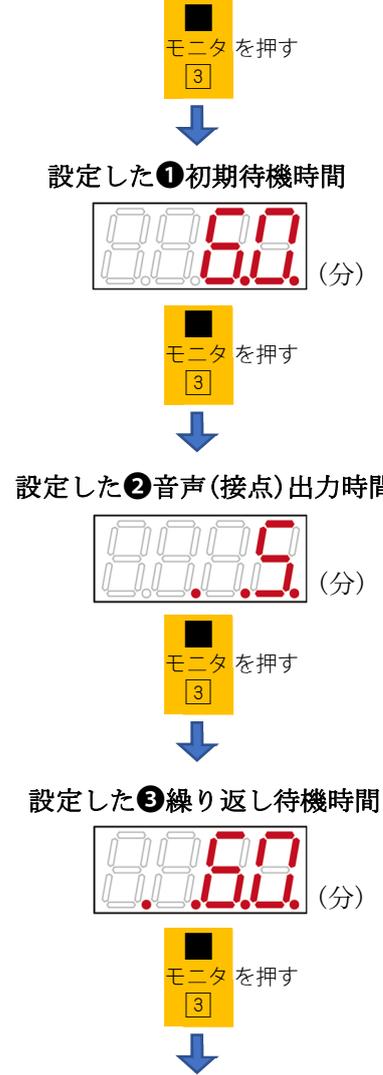
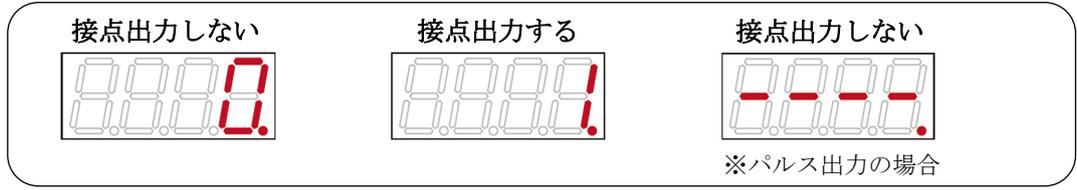
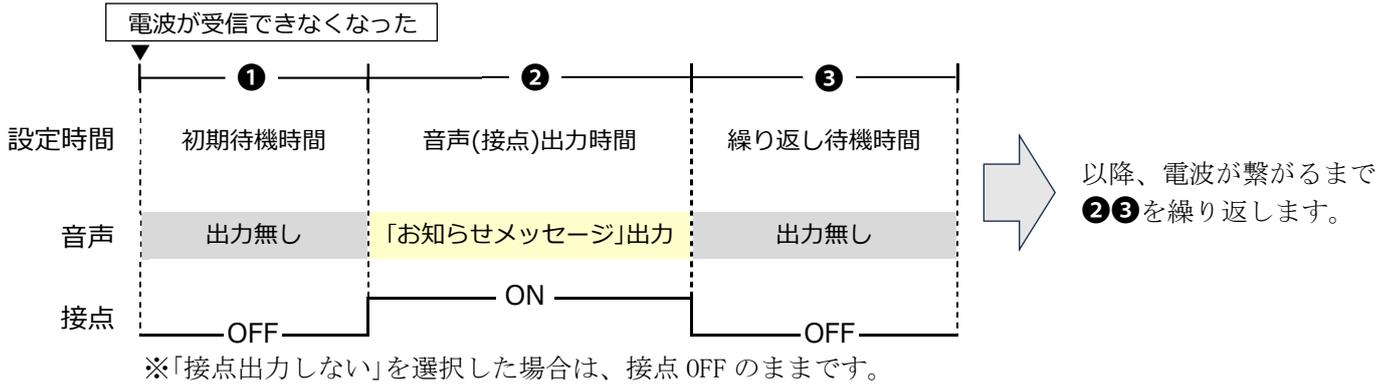


設定した音声(接点)出力時間

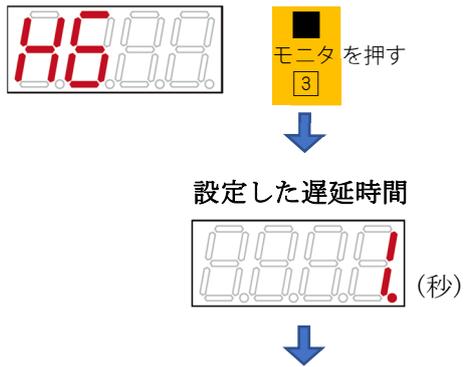


(分)

[H5] 「電波が受信できないときにお知らせする動作」を確認



[H6] 「音声出力の遅延時間」を確認



「終了ボタン」を押すと設定内容の確認を終了し、待機状態に戻ります。

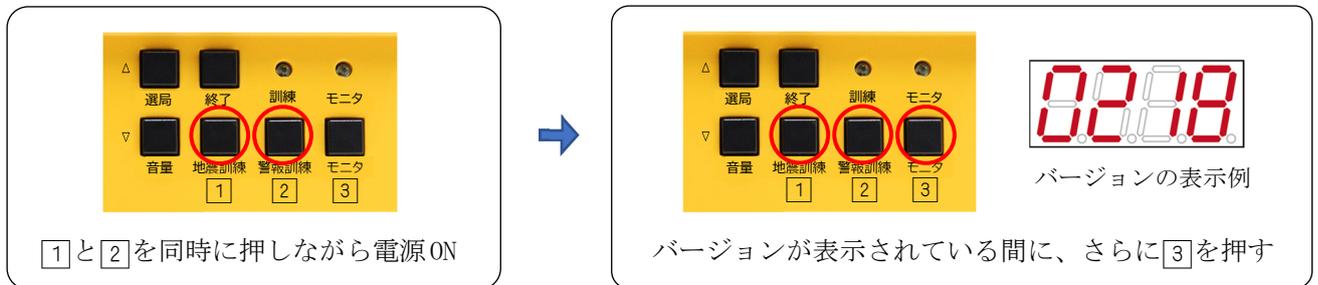


8-5 詳細動作(H1～H6)の設定値を初期化

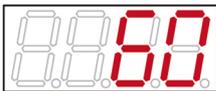
詳細動作の設定値を、工場出荷時の初期値に戻します。

※操作中は警報を受信しても、警報動作に移行しません。

- (1) 本装置の電源を OFF にします。
- (2) 「**1**地震訓練ボタン」と「**2**警報訓練ボタン」を同時に押しながら電源を ON にすると、バージョンが 2 秒間表示されます。バージョンが表示されている間に、さらに「**3**モニタボタン」を押します。



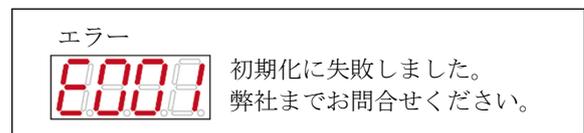
- (3) 「60」と表示し、60 秒からカウントダウンが始まったら全てのボタンから指を離します。



※「60」が表示されなかった場合は、(1)からやりなおしてください。

※カウントダウンの途中で「終了ボタン」を押す、またはカウントが 0 になると初期化を中止して待機状態に戻ります。

- (4) カウントが 0 になるまでに「**3**モニタボタン」を押すと、初期化を実行します。バージョンを表示した後、待機状態に戻ります。(地震速報 LED(赤)：1 秒間点灯)



工場出荷時の初期値

項目	工場出荷時		初期値
H1	地震警報音声	警報音声(接点)出力時間	2分
H2	EWS(避難指示)警報音声	警報音声(接点)出力終了条件	終了信号
		警報音声(接点)出力時間	2分
H3	EWS(津波警報)警報音声	警報音声(接点)出力終了条件	終了信号
		警報音声(接点)出力時間	2分
H4	警報音声終了後のラジオ放送	接点出力	出力しない
		ラジオ放送(接点)出力終了条件	終了ボタン
		ラジオ放送(接点)出力時間	5分
H5	電波が受信できないときのお知らせ	接点出力	出力しない
		初期待機時間	60分
		お知らせ音声(接点)出力時間	5分
		繰り返し待機時間	60分
H6	音声出力の遅延時間	音声出力の遅延時間	1秒

8-6 本体スピーカーの音量を設定

ラジオ放送を利用して、本体スピーカーの音量を設定します。

※本体スピーカーからのみ出力されます。ラインには出力されません。

※ここでの設定に関わらず、警報動作時、警報音声終了後のラジオ放送、電波が受信できないときのお知らせ音声は、本体スピーカーから最大ボリュームで出力されます。

※設定中に警報を受信すると、直ちに警報動作に移行します。

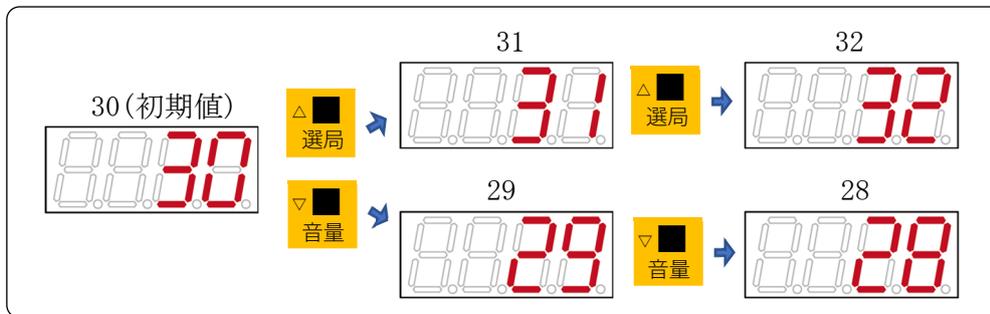
- (1) 「**3**」モニターボタン」を長押しすると、ラジオ放送が出力されます。



- (2) 本体スピーカー音量が表示されます。(モニター LED(黄)：点灯)



- (3) 「△選局ボタン」と「▽音量ボタン」で、本体スピーカー音量を「0～32」で変更します。



- (4) 「終了ボタン」を押すと音声出力を停止し、本体スピーカー音量を保存して待機状態に戻ります。
(地震速報 LED(赤)：1 秒間点灯)



8-7 ラジオ放送のライン出力音量を設定

設定した音量は、「警報動作・防災訓練・動作確認・警報音声終了後のラジオ放送」のライン出力音量になります。

※設定中に警報を受信すると、直ちに警報動作に移行します。

▲ 注意事項

制御信号を出力(接点 ON)し、ラジオ放送が本体スピーカーとラインから出力されます。

※パルス出力[設定スイッチ 8 : OFF]を設定している場合は、ライン出力音量の設定はできません。

制御信号をパルス出力し、音声は本体スピーカーからのみ出力されます。

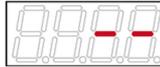
- (1) 「**2** 警報訓練ボタン」と「**3** モニタボタン」を同時に長押しすると、制御信号を出力(接点 ON)し、ラジオ放送が出力されます。



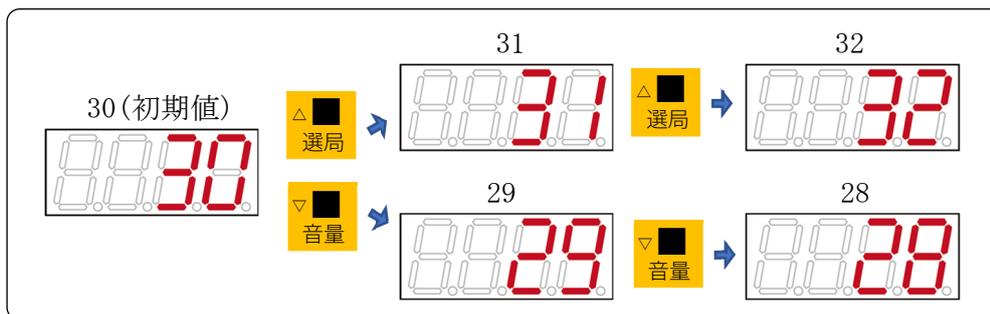
- (2) ラジオ放送のライン出力音量が表示されます。(訓練 LED(黄) : 点灯 モニタ LED(黄) : 点滅)



設定されているラジオ放送のライン出力音量

※パルス出力の場合は  と表示し、音声は本体スピーカーからのみ出力されます。

- (3) 「△選局ボタン」と「▽音量ボタン」で、ライン出力音量を「0~32」で設定します。



- (4) 「終了ボタン」を押すと音声(接点)出力を停止し、ライン出力音量を保存して待機状態に戻ります。(地震速報 LED(赤) : 1 秒間点灯)



▲ 注意事項

制御信号を出力(接点 ON)し、音声は本体スピーカーとラインから出力されます。

※パルス出力[設定スイッチ 8 : OFF]を設定している場合は、ライン出力音量の設定はできません。
制御信号をパルス出力し、音声は本体スピーカーからのみ出力されます。

項目	音声	初期値	お客様の設定音量
1P	緊急地震速報の警報メッセージ	30	
2P	電波が受信できないときのお知らせメッセージ	30	
3P	EWS(津波警報)の警報メッセージ	30	
4P	緊急地震速報の訓練メッセージ	30	
5P	EWS(避難指示/津波警報)の訓練メッセージ	30	
6P	メロディ音声	30	

※メッセージ内容は『8-2 内蔵音源について』を参照。

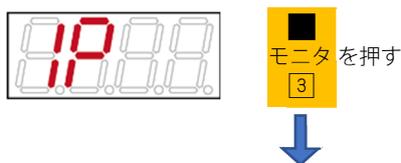
(1) 「▽音量ボタン」と「**3** モニタボタン」を同時に長押しすると、[1P]と表示されます。



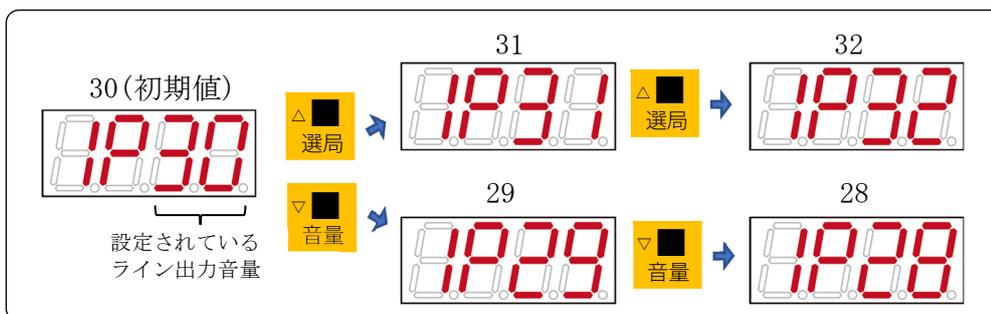
(訓練 LED(黄)・モニタ LED(黄) : 点滅)

(2) 内蔵音源(1P~6P)のライン出力音量を個別に設定します。

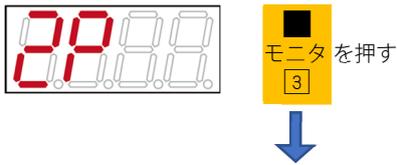
[1P] 「緊急地震速報の警報メッセージ」のライン出力音量を設定



左に[1P]、右に[設定されているライン出力音量]が表示され、「緊急地震速報の警報メッセージ」が出力されます。ライン出力音量を、「0~32」で設定します。



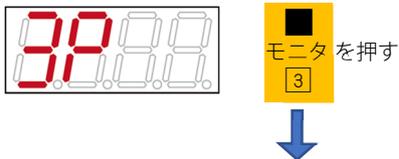
[2P] 「電波が受信できないときのお知らせメッセージ」のライン出力音量を設定



左に[2P]、右に[設定されているライン出力音量]が表示され、「電波が受信できないときのお知らせメッセージ」が出力されます。ライン出力音量を、「0～32」で設定します。



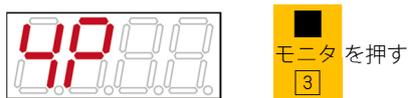
[3P] 「EWS(津波警報)の警報メッセージ」のライン出力音量を設定



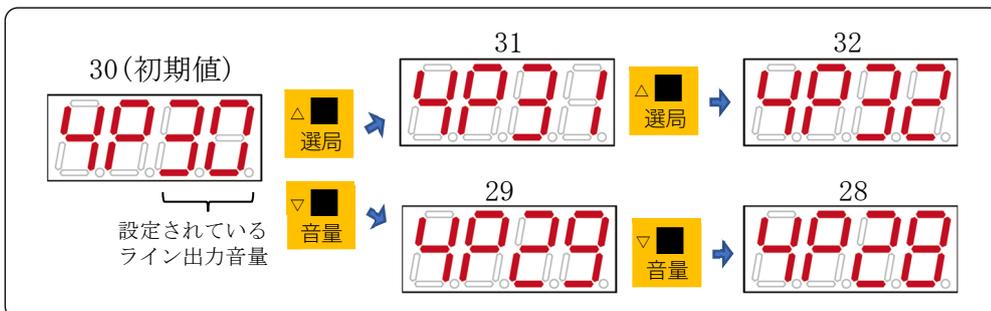
左に[3P]、右に[設定されているライン出力音量]が表示され、「EWS(津波警報)の警報メッセージ」が出力されます。ライン出力音量を、「0～32」で設定します。



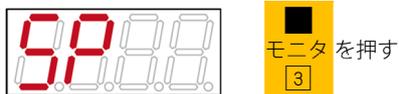
[4P] 「緊急地震速報の訓練メッセージ」のライン出力音量を設定



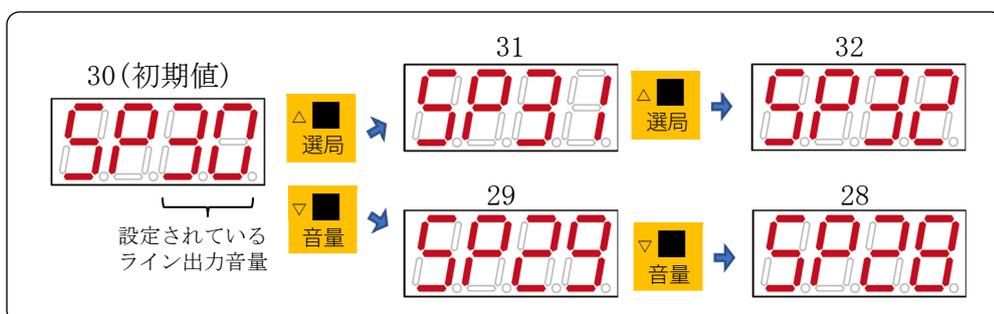
左に[4P]、右に「設定されているライン出力音量」が表示され、「緊急地震速報の訓練メッセージ」が出力されます。ライン出力音量を、「0～32」で設定します。



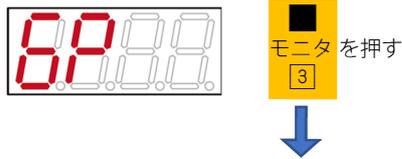
[5P] 「EWS(避難指示/津波警報)の訓練メッセージ」のライン出力音量を設定



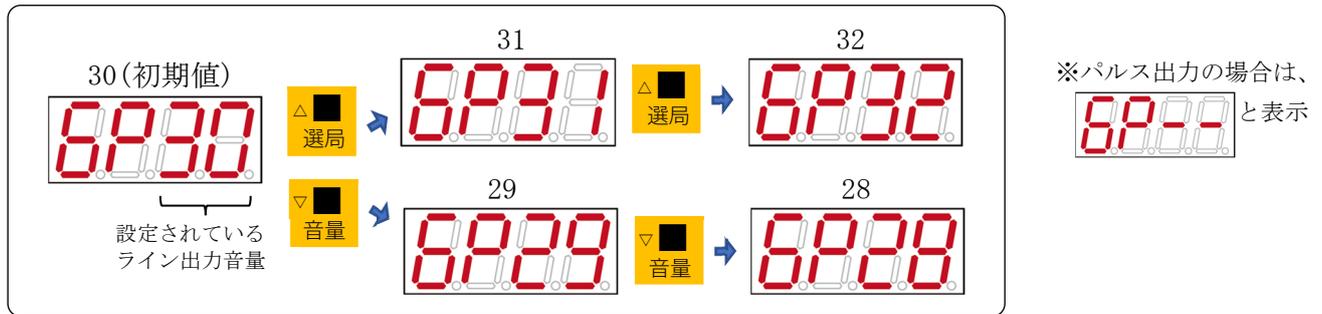
左に[5P]、右に「設定されているライン出力音量」が表示され、「EWS(避難指示/津波警報)の訓練メッセージ」が出力されます。ライン出力音量を、「0～32」で設定します。



[6P] 「メロディ音声」のライン出力音量を設定



左に[6P]、右に[設定されているライン出力音量]が表示され、「メロディ音声」が出力されます。
ライン出力音量を、「0～32」で設定します。



- (3) 「終了ボタン」を押すと音声(接点)出力を停止し、ライン出力音量を保存して待機状態に戻ります。
(地震速報 LED(赤) : 1 秒間点灯)



- ※「終了ボタン」を押さずに設定を終了すると、音量は保存されません。
- ※設定中に警報を受信すると、直ちに警報動作に移行します。

9 防災訓練・動作確認

9-1 緊急地震速報の防災訓練・動作確認

緊急地震速報の訓練メッセージを利用し、放送設備・外部機器などの動作及びライン出力の音量を確認します。緊急地震速報の防災訓練としてもご利用いただけます。

緊急地震速報を受信しない設定[設定スイッチ1：OFF]のときは実施できません。

▲ 注意事項

制御信号を出力(接点 ON)し、訓練メッセージが本体スピーカーとラインから出力されます。

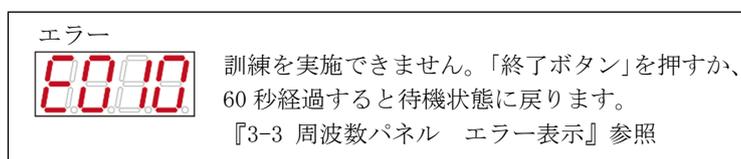
※パルス出力[設定スイッチ8：OFF]を設定している場合は、制御信号をパルス出力し、音声は本体スピーカーからのみ出力されます。

▶ 緊急地震速報の訓練メッセージ：

「訓練 訓練 ♪NHK チャイム音♪ これは緊急地震速報の訓練です
緊急地震速報 強い揺れに警戒してください 揺れが収まるまで安全を確保してください」

(1) 訓練 LED(黄)が点滅するまで、「**1**地震訓練ボタン」を長押しします。

「終了ボタン」を押すか、60秒経過すると訓練を中止します。



(2) もう一度「**1**地震訓練ボタン」を押すと、制御信号を出力(接点 ON)し、緊急地震速報の訓練メッセージが出力されます。

本体スピーカー音量を表示し、訓練 LED(黄)が点灯に変わり、地震速報 LED(赤)が点滅します。



※[詳細動作 H6]で音声出力の遅延を設定している場合は、設定した時間だけ遅延して音声出力します。

※パルス出力の場合は、音声は本体スピーカーからのみ出力されます。

※「△選局ボタン」「▽音量ボタン」で本体スピーカー音量の調節ができます。
ここで変更した音量は保存されません。

(3) 「終了ボタン」を押すか、[詳細動作 H1]で設定した緊急地震速報の音声(接点)出力時間が経過すると出力を停止し、待機状態に戻ります。



※操作の途中で警報を受信すると、直ちに警報動作に移行します。

※本体スピーカーの音量を変更する場合は『8-6 本体スピーカーの音量を設定』を参照。

※ライン出力の音量を変更する場合は『8-7 ラジオ放送のライン出力音量を設定』『8-8 内蔵音源(1P～6P)のライン出力音量を個別に設定』を参照。

9-2 EWS(避難指示/津波警報)の防災訓練・動作確認

EWS(避難指示/津波警報)の訓練メッセージを利用し、放送設備・外部機器などの動作及びライン出力の音量を確認します。EWS(避難指示/津波警報)の防災訓練としてもご利用いただけます。

EWS(避難指示)及びEWS(津波警報)を両方とも受信しない設定[設定スイッチ2:OFF][設定スイッチ3:OFF]のときは実施できません。

▲ 注意事項

制御信号を出力(接点 ON)し、訓練メッセージが本体スピーカーとラインから出力されます。

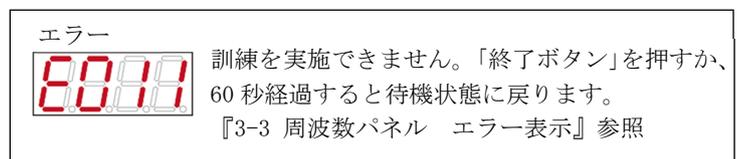
※パルス出力[設定スイッチ8:OFF]を設定している場合は、制御信号をパルス出力し、音声は本体スピーカーからのみ出力されます。

🔊 EWS(避難指示/津波警報)の訓練メッセージ

「訓練放送です ♪警報音♪ 緊急警報放送を受信しました 津波の危険があります 情報を確認し警戒してください」

(1) 訓練 LED(黄)が点滅するまで、「**2** 警報訓練ボタン」を長押しします。

「終了ボタン」を押すか、60 秒経過すると訓練を中止します。



(2) もう一度「**2** 警報訓練ボタン」を押すと、制御信号を出力(接点 ON)し、EWS(避難指示/津波警報)の訓練メッセージが出力されます。

本体スピーカー音量を表示し、訓練 LED(黄)が点灯に変わり、警報放送 LED(緑)が点滅します。



※[詳細動作 H6]で音声出力の遅延を設定している場合は、設定した時間だけ遅延して音声出力します。

※パルス出力の場合は、音声は本体スピーカーからのみ出力されます。

※「△選局ボタン」「▽音量ボタン」で本体スピーカー音量の調節ができます。

ここで変更した音量は保存されません。

(3) 「終了ボタン」を押すか、[詳細動作 H3]で設定した EWS(津波警報)の音声(接点)出力時間(※1)を経過すると出力を停止し、待機状態に戻ります。



※1 EWS(津波警報)を受信しない場合は、[詳細動作 H2]で設定した EWS(避難指示)の音声(接点)出力時間

※操作の途中で警報を受信すると、直ちに警報動作に移行します。

※本体スピーカーの音量を変更する場合は『8-6 本体スピーカーの音量を設定』を参照。

※ライン出力の音量を変更する場合は『8-7 ラジオ放送のライン出力音量を設定』『8-8 内蔵音源(1P~6P)のライン出力音量を個別に設定』を参照。

9-3 ラジオ放送で動作確認

ラジオ放送を利用して、放送設備・外部機器などの動作及びライン出力の音量を確認します。
ラジオ放送を本体スピーカー及びラインに出力します。

▲ 注意事項

制御信号を出力(接点 ON)し、ラジオ放送が本体スピーカーとラインから出力されます。

※パルス出力[設定スイッチ 8 : OFF]を設定している場合は、制御信号をパルス出力し、音声は本体スピーカーからのみ出力されます。

- (1) 「**2** 警報訓練ボタン」と「**3** モニタボタン」を同時に長押しすると、制御信号を出力(接点 ON)し、ラジオ放送が出力されます。



- (2) ライン出力音量が表示されます。(訓練 LED(黄) : 点灯 モニタ LED(黄) : 点滅)



※「△選局ボタン」「▽音量ボタン」でライン出力音量の調節ができます。

ここで変更した音量は保存されます。

※パルス出力の場合は  と表示し、音声は本体スピーカーからのみ出力されます。

- (3) 「終了ボタン」を押すと音声(接点)出力を停止し、待機状態に戻ります。
(地震速報 LED(赤) : 1 秒間点灯)



※操作中に警報を受信すると、直ちに警報動作に移行します。

※ライン出力の音量を変更する場合は『8-7 ラジオ放送のライン出力音量を設定』『8-8 内蔵音源(1P～6P)のライン出力音量を個別に設定』を参照。

9-4 メロディ音声で動作確認

メロディ音声を利用して、放送設備・外部機器などの動作及びライン出力の音量を確認します。
メロディ音声を本体スピーカー及びラインに出力します。

▲ 注意事項

制御信号を出力(接点 ON)し、メロディ音声は本体スピーカーとラインから出力されます。

※パルス出力[設定スイッチ 8 : OFF]を設定している場合は、制御信号をパルス出力し、音声は本体スピーカーからのみ出力されます。

- (1) 「**1**地震訓練ボタン」と「**3**モニタボタン」を同時に長押しすると、制御信号を出力(接点 ON)し、メロディ音声は出力されます。



※[詳細動作 H6]で音声出力の遅延を設定している場合は、設定した時間だけ遅延して音声出力します。

※パルス出力の場合は、音声は本体スピーカーからのみ出力されます。

- (2) 本体スピーカー音量が表示されます。(訓練 LED(黄)・モニタ LED(黄) : 点滅)



※「△選局ボタン」「▽音量ボタン」で本体スピーカー音量の調節ができます。
ここで変更した音量は保存されません。

- (3) 「終了ボタン」を押すと音声(接点)出力を停止し、待機状態に戻ります。
詳細動作(H1～H5)で設定した音声(接点)出力時間が経過しても、「終了ボタン」を押すまで停止しません。



※操作中に警報を受信すると、直ちに警報動作に移行します。

※本体スピーカーの音量を変更する場合は『8-6 本体スピーカーの音量を設定』を参照。

※ライン出力の音量を変更する場合は『8-7 ラジオ放送のライン出力音量を設定』『8-8 内蔵音源(1P～6P)のライン出力音量を個別に設定』を参照。

9-5 FM トランスミッターを利用して動作確認(オプション)

本装置のボタン操作による動作確認ではなく、FM トランスミッターから電波を送信し、本装置が受信することで、本装置及び外部機器などの動作確認を行います。

詳細はFM トランスミッターの取扱説明書を参照してください。

9-6 FM 放送局が実施する EWS(避難指示/津波警報)の試験放送について

放送局が実施している EWS(避難指示/津波警報)の試験放送を受信すると、訓練 LED(黄)が約 7 日間点灯し、本装置が正常に動作していることを確認することができます。

ただし、制御信号は出力されません(接点 OFF)。音声の出力もありません。

NHK FM 放送局では 1 月は 4 日(午前 11 時 59 分から)、2 月～12 月は毎月 1 日(午前 11 時 59 分から)定期的に EWS(避難指示/津波警報)の試験放送を行っています。

一部の民放 FM 放送局でも試験放送を行っていますが、詳細は各放送局にご確認ください。

※EWS(避難指示)または EWS(津波警報)を受信する設定の場合に、試験放送を確認することができます。

※試験放送を受信するために、本装置の周波数を変更した場合は、必ず元の周波数に戻すようご注意ください。

9-7 気象庁訓練報について

気象庁は毎年「津波防災の日」前後に緊急地震速報の訓練報を実施していますが、本装置は気象庁の訓練報を受信することができません。詳細は弊社までお問合せください。

10 警報動作

警報動作時の本体スピーカー音量は、常に最大ボリュームで出力されます。

10-1 緊急地震速報の警報動作

1. 音声(接点)出力時間を設定した場合 [設定スイッチ 8 : ON]

- (1) 制御信号を出力(接点 ON)し、地震速報 LED(赤)が点灯します。
- (2) [設定スイッチ 6]の設定によりラジオ放送、または[詳細動作 H6]で設定した時間だけ音声出力を遅延して内蔵音源の警報メッセージが本体スピーカーとラインから出力されます。
- (3) 「終了ボタン」を押すか、[詳細動作 H1]の音声(接点)出力時間が経過すると制御信号を停止(接点 OFF)及び音声出力を停止し、待機状態に戻ります。
- (4) [設定スイッチ 4]の設定が「警報音声終了後にラジオ放送を流す」場合は、★に続きます。

2. パルス出力の場合 [設定スイッチ 8 : OFF]

- (1) 制御信号をパルス出力し、地震速報 LED(赤)が点灯します。
- (2) [設定スイッチ 6]の設定によりラジオ放送、または[詳細動作 H6]で設定した時間だけ音声出力を遅延して内蔵音源の警報メッセージが本体スピーカーから出力されます。
- (3) 「終了ボタン」を押すか、[詳細動作 H1]の音声(接点)出力時間が経過すると音声出力を停止し、待機状態に戻ります。
- (4) [設定スイッチ 4]の設定が「警報音声終了後にラジオ放送を流す」場合は、★に続きます。

★ 「警報音声終了後にラジオ放送を流す」場合

警報音声終了後、[詳細動作 H4]の設定により制御信号を出力(接点 ON)し、ラジオ放送が出力されます。※パルス出力の場合は、本体スピーカーからのみ出力されます。
「終了ボタン」を押すか、音声(接点)出力時間が経過すると制御信号を停止(接点 OFF)及びラジオ放送の出力を停止し、待機状態に戻ります。

10-2 EWS(避難指示)の警報動作

1. 音声(接点)出力時間を設定した場合 [設定スイッチ 8 : ON]

- (1) 制御信号を出力(接点 ON)し、警報放送 LED(緑)が点灯します。
- (2) ラジオ放送が出力されます。
- (3) 「終了ボタン」を押すか、「終了信号」を受信、または[詳細動作 H2]の音声(接点)出力時間が経過すると制御信号を停止(接点 OFF)及び音声出力を停止し、待機状態に戻ります。
- (4) [設定スイッチ 4]の設定が「警報音声終了後にラジオ放送を流す」場合は、★に続きます。

2. パルス出力の場合 [設定スイッチ 8 : OFF]

- (1) 制御信号をパルス出力し、警報放送 LED(緑)が点灯します。
- (2) ラジオ放送が出力されます。
- (3) 「終了ボタン」を押すか、「終了信号」を受信、または[詳細動作 H2]の音声(接点)出力時間が経過すると音声出力を停止し、待機状態に戻ります。
- (4) [設定スイッチ 4]の設定が「警報音声終了後にラジオ放送を流す」場合は、★に続きます。

★ 「警報音声終了後にラジオ放送を流す」場合

警報音声終了後、[詳細動作 H4]の設定により制御信号を出力(接点 ON)し、ラジオ放送が出力されます。※パルス出力の場合は、本体スピーカーからのみ出力されます。
「終了ボタン」を押すか、音声(接点)出力時間が経過すると制御信号を停止(接点 OFF)及びラジオ放送の出力を停止し、待機状態に戻ります。

10-3 EWS(津波警報)の警報動作

1. 音声(接点)出力時間を設定した場合 [設定スイッチ 8 : ON]

- (1) 制御信号を出力(接点 ON)し、警報放送 LED(緑)が点灯します。
- (2) [設定スイッチ 7]の設定によりラジオ放送、または[詳細動作 H6]で設定した時間だけ音声出力を遅延して内蔵音源の警報メッセージが本体スピーカーとラインから出力されます。
- (3) 「終了ボタン」を押すか、「終了信号」を受信、または[詳細動作 H3]の音声(接点)出力時間が経過すると制御信号を停止(接点 OFF)及び音声出力を停止し、待機状態に戻ります。
- (4) [設定スイッチ 4]の設定が「警報音声終了後にラジオ放送を流す」場合は、★に続きます。

2. パルス出力の場合 [設定スイッチ 8 : OFF]

- (1) 制御信号をパルス出力し、警報放送 LED(緑)が点灯します。
- (2) [設定スイッチ 7]の設定によりラジオ放送、または[詳細動作 H6]で設定した時間だけ音声出力を遅延して内蔵音源の警報メッセージが本体スピーカーから出力されます。
- (3) 「終了ボタン」を押すか、「終了信号」を受信、または[詳細動作 H3]の音声(接点)出力時間が経過すると音声出力を停止し、待機状態に戻ります。
- (4) [設定スイッチ 4]の設定が「警報音声終了後にラジオ放送を流す」場合は、★に続きます。

★ 「警報音声終了後にラジオ放送を流す」場合

警報音声終了後、[詳細動作 H4]の設定により制御信号を出力(接点 ON)し、ラジオ放送が出力されます。※パルス出力の場合は、本体スピーカーからのみ出力されます。
「終了ボタン」を押すか、音声(接点)出力時間が経過すると制御信号を停止(接点 OFF)及びラジオ放送の出力を停止し、待機状態に戻ります。

10-4 内部動作の優先順位

緊急地震速報と EWS (避難指示/津波警報) では、後から発生した警報が優先され、その警報動作に移行します。

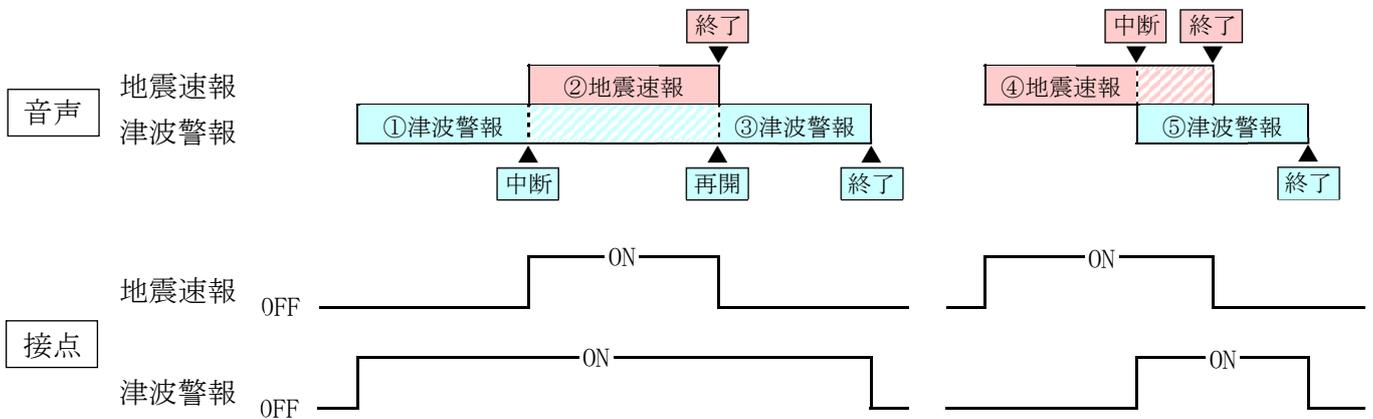
EWS (避難指示) と EWS (津波警報) では、後から発生した警報が優先され、その警報動作に移行します。

動作優先順位 緊急地震速報・EWS > 防災訓練・動作確認・試験放送(EWS) > ライン入力

動作例 1 :

①津波警報が出力されているときに緊急地震速報を受信すると、津波警報を中断して②地震速報を出力します。その後、地震速報の出力時間が終了したときに、津波警報の出力時間が残っていれば③津波警報の出力を再開します。

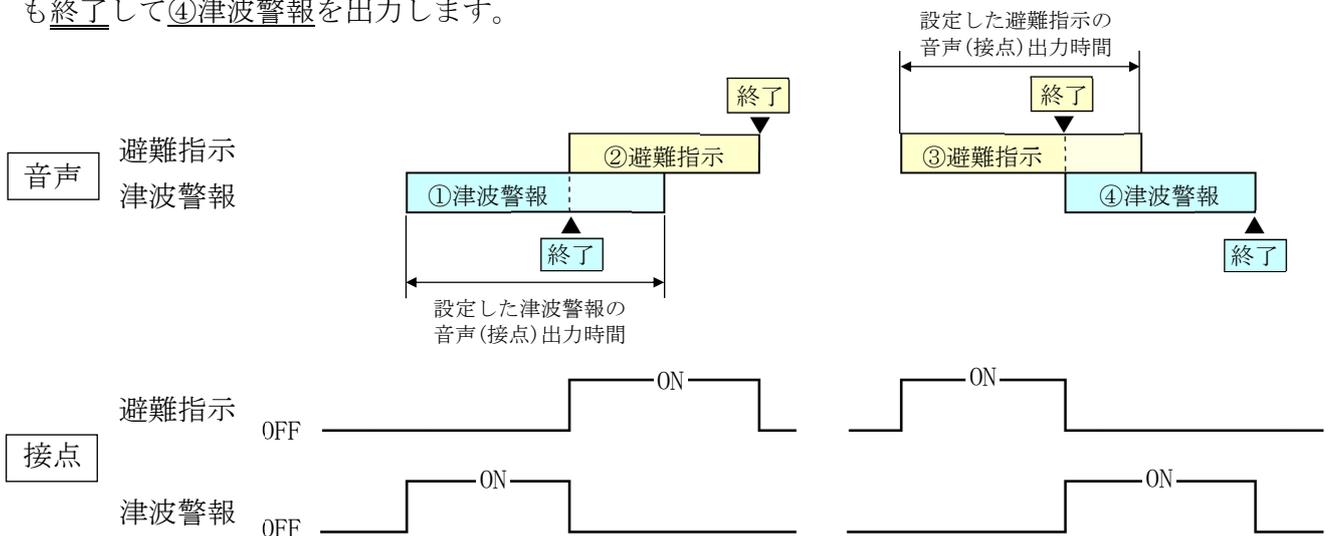
また、④地震速報が出力されているときに津波警報を受信すると、地震速報を中断して⑤津波警報を出力します。



動作例 2 :

①津波警報が出力されているときに避難指示を受信すると、津波警報の出力時間が残っていても終了して②避難指示を出力します。

また、③避難指示が出力されているときに津波警報を受信すると、避難指示の出力時間が残っていても終了して④津波警報を出力します。



11 定期点検

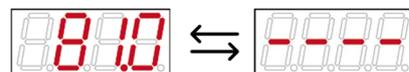
FM LED(緑)で放送局の電波強度を確認



FM LED
点灯：良好
点滅：弱い
消灯：非常に弱い

電波が受信できない場合

- 全ての LED ランプが高速点滅
- 周波数と「----」を交互に表示



- ※電波強度が弱くても、ラジオ放送が明瞭に聞こえ、雑音が無い状態であればご利用になれます。
- ※アンテナの接続方法を変更、ブースターの取付、受信する放送局を変更することで電波強度が改善することがあります。

ラジオ放送が明瞭に聞こえ、雑音が無いことを確認

ラジオ放送は本体スピーカーからのみ出力されます。ラインには出力されません。

- (1) 「**3** モニタボタン」を長押しすると、ラジオ放送が出力されます。



- (2) 本体スピーカー音量が表示されます。(モニタ LED(黄)：点灯)



設定されている本体スピーカー音量

※「△選局ボタン」「▽音量ボタン」で本体スピーカー音量の調節ができます。

ここで変更した音量は保存されます。

- (3) 「終了ボタン」を押すと音声出力を停止し、待機状態に戻ります。(地震速報 LED(赤)：1 秒間点灯)



- ※操作中に警報を受信すると、直ちに警報動作に移行します。
- ※本体スピーカーの音量を変更する場合は『8-6 本体スピーカーの音量を設定』を参照。

放送設備と外部機器との動作確認

放送設備からラジオ放送や内蔵音源の音声が発送されます。十分ご注意ください。

『9-1 緊急地震速報の防災訓練・動作確認』

『9-2 EWS(避難指示/津波警報)の防災訓練・動作確認』

『9-3 ラジオ放送で動作確認』

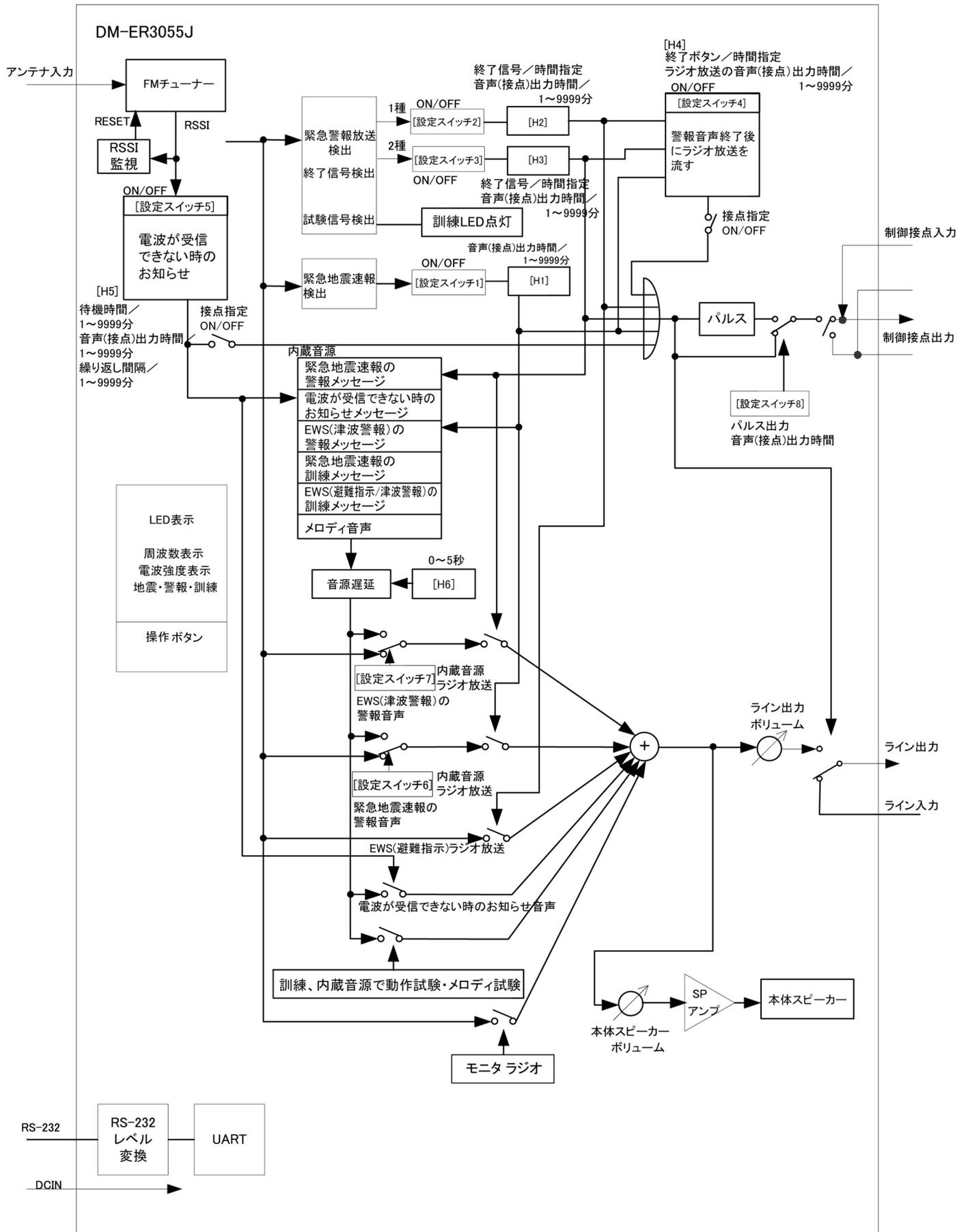
『9-4 メロディ音声で動作確認』

※本装置のライン出力音量を変更する場合は、以下を参照してください。

『8-7 ラジオ放送のライン出力音量を設定』

『8-8 内蔵音源(1P～6P)のライン出力音量を個別に設定』

12 ブロック図



13 製品仕様

項目	仕様
品名	デジタルもぐら 3055
型番	DM-ER3055J
受信周波数	76.0MHz～108.0MHz ワイドFM 対応
受信感度	20dB μ V 以上
アンテナ入力	F 型コネクタ端子
緊急地震速報	NHK チャイム音の受信で警報動作 緊急地震速報の受信：「受信する」「受信しない」 制御信号：「パルス出力」「時間指定」 音声(接点)出力時間：「1分～9999分」で設定
EWS(緊急警報放送)	第1種開始信号・第2種開始信号の受信で警報動作 終了信号・試験放送の受信で動作可能 EWS(避難指示)の受信：「受信する」「受信しない」 EWS(津波警報)の受信：「受信する」「受信しない」 制御信号：「パルス出力」「時間指定」「終了信号を受信するまで」 音声(接点)出力時間：「1分～9999分」で設定
接点入力	端子形状：ネジ止め式コネクタ端子 本装置の入出力コネクタに接続端子台を装着 外部機器からの制御信号を入力 待機状態で外部機器からの制御信号はそのまま接点出力に送出
接点出力	端子形状：ネジ止め式コネクタ端子 本装置の入出力コネクタに接続端子台を装着 電気的特性：無電圧ループ接点出力 接点出力：最大 DC30V 1000mA、最大 AC60V 500mA パルス出力：パルス幅 約 500msec
ライン入力	端子形状：ネジ止め式コネクタ端子 本装置の入出力コネクタに接続端子台を装着 外部機器からの音声信号を入力 待機状態で外部機器からの音声信号はそのままライン出力に送出
ライン出力	端子形状：ネジ止め式コネクタ端子 本装置の入出力コネクタに接続端子台を装着 最大出力レベル：+6dBs レベル調整可能 出力インピーダンス：220 Ω
内蔵音源	緊急地震速報 警報メッセージ 緊急地震速報 訓練メッセージ EWS(津波警報) 警報メッセージ EWS(避難指示/津波警報) 訓練メッセージ 電波が受信できないときのお知らせメッセージ メロディ音声
内蔵音源の書き換え	内蔵音源の書き換えが可能(オプション)
音声出力の遅延時間	0秒、1秒、2秒、3秒、4秒、5秒
防災訓練・試験放送	緊急地震速報の訓練メッセージによる防災訓練 EWS(避難指示/津波警報)の訓練メッセージによる防災訓練 ラジオ放送による試験放送 メロディ音声による試験放送
本体スピーカー	最大入力 1W 音量調整可能

項目		仕様
警報音声終了後のラジオ放送		警報音声終了後にラジオ放送を「流す」「流さない」 制御信号：「出力する」「出力しない」 音声(接点)出力時間：「1分～9999分」で設定
電波が受信できないときにお知らせ		電波が受信できないときにお知らせメッセージを「流す」「流さない」 全てのLEDが高速点滅 設定している周波数と「----」を交互に表示 制御信号：「出力する」「出力しない」 待機時間：お知らせメッセージを出力するまでの待機時間を「1分～9999分」で設定 音声(接点)出力時間：「1分～9999分」で設定 繰り返し間隔：再度お知らせメッセージを出力するまでの間隔を「1分～9999分」で設定
パネル表示	地震速報 LED(赤)	緊急地震速報を受信すると約7日間点灯 緊急地震速報の訓練中は点滅 電波が受信できないときは高速点滅
	警報放送 LED(緑)	EWS(緊急警報放送)を受信すると約7日間点灯 EWS(緊急警報放送)の訓練中は点滅 [詳細動作 H1～H6]の設定中は高速点滅 電波が受信できないときは高速点滅
	周波数表示(赤)	放送局の受信周波数を表示 動作設定の項目や設定値を表示 バージョンを表示
	FM LED(緑)	放送局の電波強度を表示 点灯：良好 点滅：弱い 消灯：非常に弱い 電波が受信できないときは高速点滅
	モニタ LED(黄)	音量を設定しているときは点滅 ラジオの受信状態を確認しているときは点灯 電波が受信できないときは高速点滅
	訓練 LED(黄)	緊急地震速報及びEWS(緊急警報放送)の訓練準備中は点滅、訓練実施中は点灯 EWS(緊急警報放送)の試験放送を受信すると約7日間点灯 電波が受信できないときは高速点滅
受信記録	緊急地震速報	地震速報 LED が約7日間点灯
	EWS(緊急警報放送)	警報放送 LED が約7日間点灯
	EWS(緊急警報放送)試験放送	訓練 LED が約7日間点灯
受信感度確認		LEDで確認 ラジオ放送で確認
電源		DC9V 100mA ACアダプター使用(入力100V～120V)
消費電力		待機時：1W以下 最大10W
動作環境		温度：0℃～40℃ 湿度：0%～80%(結露なき事)
寸法(約)		176mm(幅) × 87mm(高) × 27mm(奥行)
重量(約)		200g(本体のみ)

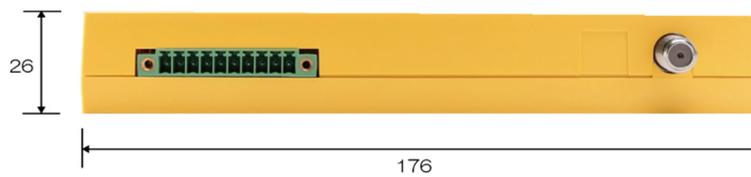
14 製品寸法図

(単位：mm)

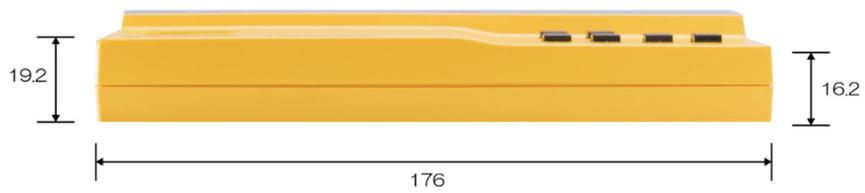
【正面】



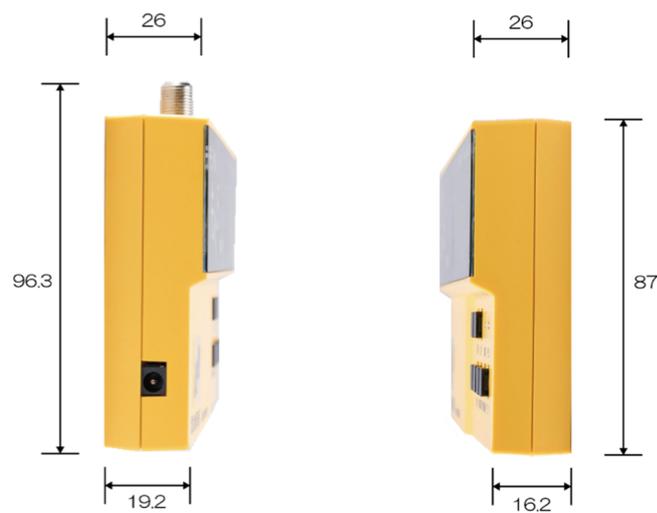
【上面】



【下面】



【側面】



15 Q & A

Q：NHK と民放、どちらを受信したほうがいいのですか？

放送局によって緊急地震速報・EWS(避難指示/津波警報)の実施状況、放送震度基準、放送内容などが異なるので、ご利用形態に応じて放送局を決めてください。詳細は『6 放送局』を参照。

Q：本装置を設置する場所と同じ都道府県内にある放送局を選ぶのですか？

設置場所と異なる放送局であっても、受信感度が良い放送局で運用することをお勧めします。

Q：受信感度が悪い場合の対策は？

屋外にFMアンテナを設置、ブースターの設置、受信する放送局の変更などをご検討ください。ケーブルテレビが敷設されていれば、分配器を利用しFM放送が受信できる場合があります。

Q：テレビアンテナを利用してFM電波を受信できますか？

アナログテレビのVHFアンテナであれば可能ですが、地上波デジタルテレビのアンテナは使えません。

Q：本装置が電波を受信しなくなったら分かりますか？

本装置のLEDと音声でお知らせすることができます。詳細は『8-1 基本動作(設定スイッチ1~8)の設定-[設定スイッチ5]』『8-3 詳細動作(H1~H6)の設定-[H5]』を参照。

Q：津波警報のみ受信できますか？

緊急地震速報・EWS(避難指示)・EWS(津波警報)を個別に受信できます。EWS(津波警報)は放送局によって実施状況や放送内容などが異なります。詳細は『6 放送局』を参照。

Q：警報動作中に、館内放送を中止することができますか？

本体の終了ボタンを押すことで、放送を中止することができます。

Q：地震が来るまでの猶予時間や震度は放送されますか？

震度や猶予時間はお知らせしません。設置場所に地震が来ることだけをお知らせします。

Q：震源地や地震警報の対象地域は放送されますか？

警報音声をラジオ放送に設定すれば、震源地及び地震警報の対象地域などがラジオで放送されます。警報音声を内蔵音源に設定すると、本装置に登録されている警報メッセージが放送されます。

Q：外国語で警報をお知らせすることはできますか？

内蔵音源の書き換えで、外国語放送や冒頭警報音の変更、特殊なオリジナル音声などに変更することができます。(オプション)

Q：車に乗せて使用できますか。

電波を受信することができれば、船・車など移動する乗り物でも使用することができます。但し、県をまたがる場合は、その都度受信する放送局を変更する必要があります。

Q：気象庁が実施する緊急地震速報の訓練報を受けることができますか？キャンセル報は？

本装置は、訓練報及びキャンセル報の対象外となっています。詳細は弊社までお問合せください。

Q：Jアラートを受信できますか？防災無線は受信できますか？

Jアラート及び防災無線は受信できません。

Q：放送設備のスピーカーからノイズ音があります。対策はありますか？

本装置のライン出力端子の(+ -)のチェック及び本装置のライン出力の音量の調整、放送設備のライン出力音量の調整などを行ってみてください。

Q：放送設備のスピーカーの音量が小さいときは？

本装置のライン出力の音量及びアンプ側の出力音量を調整してください。

それでも改善しないときは、特注対応にて、本装置のライン出力音量を変更することができます。

Q：接点出力が1つしかありませんが、放送設備と回転灯など複数の接点が必要なときは？

接点分配器をご利用ください。詳細は弊社までお問合せください。

Q：停電時に使えますか？

内蔵バッテリーは搭載していません。UPS(無停電電源装置)をご利用ください。

Q：屋外に設置できますか？

防水仕様ではありません。防水ボックスに入れてご利用ください。

Q：何年使えますか？

想定安全使用年月を5年間とさせていただきます。

<<MEMO>>

◀MEMO▶

保証書

保証規定

正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、保証規定に基づいて無償修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

保証期間内に故障が発生した場合には、本保証書をご提示の上、弊社または販売会社に修理をご依頼ください。

出張による修理は行っておりません。修理はセンドバック方式です。

修理を依頼するときの脱着作業費、送料、それに伴う諸経費などはお客様のご負担となります。

保証の対象となるのは本装置の本体部分のみとなります。

付属品や本装置に保存されたデータなどは保証の対象とはなりません。

本装置の使用中に生じた火災・けが・事故・経済的損害など、すべての損害について弊社及び販売会社は一切その責任を負いません。

本装置の不具合及び修理などで本装置が使用できない期間に発生したすべての損害について、弊社及び販売会社は一切その責任を負いません。

次のような場合には保証期間内でも保証の対象外となります。

- 物理的な破損などが見受けられる場合。
- 取扱説明書とは異なる方法での使用及び改造や修理による故障及び損傷。
- 取扱説明書に記載されている注意・警告事項などの不徹底により発生した故障及び損傷。
- 使用により生じた傷や塗装の変化、有寿命部品の自然消耗・摩耗・劣化などによる故障及び損傷。
- お買いあげ後の輸送、移動、落下、衝撃などによる故障及び損傷。
- 本装置と接続した外部機器が原因で生じた故障及び損傷。
- 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、風水害、その他の天災地変、あるいは異常電圧など外部要因に起因する故障及び損傷。
- 戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議、その他不可抗力の事由により生じた故障及び損傷。
- 弊社の都合以外の理由により、保証書に記載された内容を利用者もしくは第三者が改めた場合。

本装置の仕様及び外観などを改良等により予告なく変更する場合があります。

保証規定は日本国内で購入し、日本国内で使用している場合のみ有効なものとします。

本保証書は本保証書に記載された内容により、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

本保証書はいかなる場合においても再発行しないので、紛失しないように大切に保管してください。

品名：デジタルもぐら 3055

型番：DM-ER3055J

製造番号： —

保証期間： 年 月末日まで

お客様名（お名前・お電話・ご住所）

販売会社（お名前・お電話・ご住所）

緊急地震速報のリーディングカンパニー



株式会社 Jコーポレーション

総合窓口 TEL 0742-53-7833

〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 557-7-4F

<https://www.jcorp.co.jp> fax 0742-53-7795



緊急地震速報